

航 空 自 衛 隊 仕 様 書			
仕様書の種類	内容による分類	役 務 仕 様 書	
	性質による分類	個 別 仕 様 書	
物品番号		仕 様 書 番 号	
品 名 又は 件 名	射撃管制棟改修工事	武分基LPS-R00014	
		承 認	令和8年 4月24日
		作 成	令和8年 4月16日
		改 正	令和 年 月 日
			令和 年 月 日
		作成部隊等名	中高群第2高射隊

1 総則

1.1 適用範囲

この仕様書は、航空自衛隊武山分屯基地における射撃管制棟改修工事（以下，“工事”という。）に適用する。

1.2 用語及び定義

この仕様書で用いる主な用語及び定義は、C&LPS-Y00007の1.2による。

1.3 引用文書等

この仕様書に引用する次の文書は、この仕様書に規定する範囲内において、この仕様書の一部をなすものであり、入札書又は見積書の提出時における最新版とする。

なお、引用文書に定める内容がこの仕様書に定める内容と相違する場合は、この仕様書に定める内容が優先する。

a) 仕様書

C&LPS-Y00007 調達品等一般共通仕様書

公共建築工事標準仕様書（令和8年改正）

公共建築改修工事標準仕様書（令和8年改正）

b) その他

営繕工事写真撮影要領（令和5年版）

2 一般事項

- 工事の履行に関する責任は、契約の相手方が有する。
- 工事に関する事項において、部隊との調整が必要な場合は、監督官を通じ実施する。
- 契約の相手方は、基地等における写真撮影について、契約役務に必要な場合及び内容のみとし、都度、監督官等の許可を得る。
- 契約の相手方は、工事に関連するデータについて、ファイル交換ソフトがインストールされていないパソコン等を使用し、必要書類の提出後、当該データを消去し、当該データを保持しない。

3 工事に関する要求

3.1 工事実施場所

航空自衛隊武山分屯基地長井地区（図1のとおり。）

件 名	射撃管制棟改修工事
-----	-----------

3.2 工事期間

契約締結日から令和8年12月18日

3.3 工事の内容

次によるほか、細部は、図2～図29のとおり。

- a) トイレ、洗面所及びシャワー室の建具、天井、壁及び床の改修
- b) トイレ、シャワーユニット及び洗面台の撤去
- c) トイレ、シャワーユニット、洗面台及び洗濯機用排水金具の新設

3.4 工事項目・数量等

3.4.1 建築工事

a) 仮設工事

仮設工事の項目・数量等については、表1による。

表1－仮設工事

項 目	仕様等	数量	単位
墨出し	内部改修・複合改修	36.60	m ²
養生	内部改修・複合改修	36.60	m ²
養生	内部改修・搬出入路部分	26.20	m ²
整理清掃後片付け	内部改修・複合改修	36.60	m ²
整理清掃後片付け	内部改修・搬出入路部分	26.20	m ²
内部仕上足場	脚立足場・階高4.0m以下・一般	36.60	m ²
仮設材運搬	内部仕上足場・階高4.0m以下・平屋	36.60	m ²

b) 撤去工事

撤去工事の項目・数量等については、表2による。

表2－撤去工事

項 目	仕様等	数量	単位
トイレブース取外し	樹脂製・再利用	1.0	式
シャワーブース撤去	樹脂製	1.0	式
C B撤去	コンクリート	2.30	m ³
天井ボード撤去	厚9.5mm	34.20	m ²
シーリング撤去	石綿含有	43.40	m
片開きフラッシュ扉撤去	鋼製	1.70	m ²
床下点検口撤去	アルミ製・600角・枠共(カッター入れ含む)	1.0	か所
天井廻り縁撤去	塩ビ製	40.70	m
脱衣棚撤去	木製・W1600×H800	1.0	か所

c) 金属工事

金属工事の項目・数量等については、表3による。

表3－金属工事

項 目	仕様等	数量	単位
軽量鉄骨壁下地	65形@300	9.60	m ²
壁下地開口部補強	65形・W660×H1900程度	2.0	か所
床点検口	600角・枠共	1.0	か所
天井点検口	450角	3.0	か所

件 名	射撃管制棟改修工事
-----	-----------

表 3－金属工事（続き）

屋内天井下地開口部補強	LGS・450 角・ボード等切込共	3.0	か所
野縁組換え	LGS	1.0	式

d) 建具工事

建具工事の項目・数量等については、表 4 による。

表 4－建具工事

項 目	仕様等	数量	単位
トイレブース取付け	樹脂製・再利用	1.0	式
シャワースペース	建具表による。	1.0	式
軽量鋼製片開きフラッシュ扉	建具表による。	1.0	式
シャワーユニット扉枠	建具表による。	2.0	か所

e) 塗装工事

塗装工事の項目・数量等については、表 5 による。

表 5－塗装工事

項 目	仕様等	数量	単位
素地ごしらえ	ボード面・B 種	9.60	m ²
E P－G 塗り	ボード面・B 種	9.60	m ²

f) 内装工事

内装工事の項目・数量等については、表 6 による。

表 6－内装工事

項 目	仕様等	数量	単位
下地調整	ビニル床シート部	30.00	m ²
下地調整	メラミン化粧板部	91.40	m ²
ビニル床シート張り	厚 2.0 mm 程度	30.00	m ²
ソフト幅木	H=100 mm・厚 2.0 mm 程度	42.00	m
メラミン化粧板	厚 3.0 mm	91.40	m ²
壁シジグセっこうボード	厚 12.5 mm 程度	9.50	m ²
天井化粧セっこうボード	厚 9.5 mm	34.20	m ²
天井廻り縁	塩ビ製・9 mm 程度	40.70	m
汚垂れ石	W600×H800・厚 6.0 mm 程度	3.0	枚
置床	H=200 mm 程度	2.20	m ²
上り框	W2100×H200 mm 程度	1.0	か所
LGS ライニングカウンター	W4330×H1200 mm・W2330×H1200 mm	2.0	か所

g) 環境配慮改修工事

環境配慮改修工事の項目・数量等については、表 7 による。

表 7－環境配慮改修工事

項 目	仕様等	数量	単位
床養生	二重張り・隔離シート厚 0.15 mm	1.0	式
壁養生	一重張り・隔離シート厚 0.18 mm	1.0	式
整理清掃後片付け	隔離シート	1.0	式
除去石綿処理	密閉処理	1.0	式

件 名	射撃管制棟改修工事
-----	-----------

3.4.2 電気設備工事

a) 撤去工事

撤去工事の項目・数量等については、表 8 による。

表 8－撤去工事

項 目	仕様等	数量	単位
600V 絶縁電線	IV 1.6mm・管内配線	24.54	m
600V 絶縁ケーブル	2.0 mm-3C	12.50	m
白熱灯器具	壁付型	5.0	個
蛍光灯器具	20W 壁付型	3.0	台
蛍光灯器具	40W 天井直付型	4.0	台
1 種金属線ぴ	A 型メタルモール	12.50	m
位置ボックス	金属製・露出型	3.0	個

b) 配管工事

配管工事の項目・数量等については、表 9 による。

表 9－配管工事

項 目	仕様等	数量	単位
1 種金属線ぴ	A 型メタルモール	8.0	m
金属ダクト	C 型メタルモール	1.20	m
位置ボックス	樹脂製 D44・1 個口	1.0	個
位置ボックス	樹脂製 D44・3 個口	5.0	個
位置ボックス	アウトレットボックス中四角 浅型	2.0	個

c) 配線工事

配線工事の項目・数量等については、表 10 による。

表 10－配線工事

項 目	仕様等	数量	単位
600V ポリエチレンケーブル	EM-CE・5.5 mm ² -3C	9.50	m
600V 絶縁電線	EM-IE・2.0 mm	9.50	m
600V 絶縁ケーブル	EM-EEF・2.0 mm-3C	20.30	m
600V 絶縁ケーブル	EM-EEF・2.0 mm-2C	12.60	m

d) 電灯設備工事

電灯設備工事の項目・数量等については、表 11 による。

表 11－電灯設備工事

項 目	仕様等	数量	単位
コンセント	連用形 2P15A×2(接地端子付一体形)	4.0	個
コンセント	連用形 2P15A(接地端子付一体形)	1.0	個
タプスイッチ(大角連用形)	1P15A	2.0	個
LED 照明	LSS3MP/RP-2-06	6.0	台
LED 照明	LSS9MP/RP-4-30	3.0	台
分電盤	鋼製・450×450 程度・開閉器箱共(図 11 開閉器箱表による。)	1.0	個

件 名	射撃管制棟改修工事
-----	-----------

3.4.3 機械設備工事

a) 撤去工事

撤去工事の項目・数量等については、表 12 による。

表 12－撤去工事

項 目	仕様等	数量	単位
排水管撤去(15A)	配管用炭素鋼鋼管(白)・屋内一般 15A	2.50	m
排水管撤去(40A)	配管用炭素鋼鋼管・便所配管 40A	16.70	m
排水管撤去(50A)	配管用炭素鋼鋼管・便所配管 50A	6.70	m
排水管撤去(65A)	配管用炭素鋼鋼管・便所配管 65A	9.50	m
排水管撤去(100A)	配管用炭素鋼鋼管・便所配管 100A	6.80	m
排水管撤去(50A)	鉛配管・便所配管 50A	5.0	m
排水管撤去(75A)	鉛配管・便所配管 75A	2.70	m
排水管撤去(100A)	排水用鋳鉄管・便所配管 100A	8.40	m
給湯管撤去(20A)	銅管 M・便所配管 20A	1.60	m
配管保温撤去(20A)	グラスウール・暗渠内・厚 20mm・配管口径 20A	1.60	m
スパイラルダクト撤去	φ 150mm	9.30	m
スパイラルダクト撤去	φ 200mm	4.20	m
ダクト用換気扇撤去	ボックス付シロッコファン接続径 φ 200 mm	1.0	台
ダクト用換気扇撤去	天井扇・接続径 φ 150 mm	2.0	台
ベントキャップ撤去	φ 150 mm・ガラリ付	1.0	個
ベントキャップ撤去	φ 200 mm・ガラリ付	2.0	個
大便器撤去	洋式大便器・フラッシュバルブ共	2.0	組
小便器撤去	壁掛・フラッシュバルブ共	3.0	組
洗面器撤去	壁掛・単水栓共	1.0	組
洗面器撤去	壁掛・混合水栓共	4.0	組
掃除流し撤去	陶器質・単水栓共	1.0	組
シャワー水栓撤去	固定式・混合水栓	2.0	組
床上掃除口撤去(65)	65 COA	2.0	個
床上掃除口撤去(100)	100 COA	3.0	個

b) 配管工事

配管工事の項目・数量等については、表 13 による。

表 13－配管工事

項 目	仕様等	数量	単位
排水管(40A)	VP・便所配管 40A	11.90	m
排水管(50A)	VP・便所配管 50A	14.70	m
排水管(65A)	VP・便所配管 65A	9.50	m
排水管(75A)	VP・便所配管 75A	2.70	m
排水管(100A)	VP・便所配管 100A	16.60	m
給水管(20A)	SGP-VB・屋内一般 20A	1.30	m
配管封鎖処置(20A)	銅管 M・給湯管 20A	1.0	か所

件 名	射撃管制棟改修工事
-----	-----------

表 13－配管工事（続き）

床上掃除口(40)	ステンレス製・40 COA	1.0	か所
床上掃除口(65)	ステンレス製・65 COA	3.0	か所
床上掃除口(100)	ステンレス製・100 COA	3.0	か所

c) 保温工事

保温工事の項目・数量等については、表 14 による。

表 14－保温工事

項 目	仕様等	数量	単位
配管保温(20A)	グラスウール・屋内露出・厚 20mm 配管口径 20A・合成樹脂カバー	1.30	m

d) はつり工事

はつり工事の項目・数量等については、表 15 による。

表 15－はつり工事

項 目	仕様等	数量	単位
機械はつり(φ 125mm)	貫通口径 125mm・厚 100mm～150mm	1.0	か所
機械はつり(φ 32mm)	貫通口径 32mm・厚 200mm 程度	4.0	か所
機械はつり(φ 63mm)	貫通口径 63mm・厚 250mm 程度	5.0	か所
機械はつり(φ 75mm)	貫通口径 75mm・厚 250mm 程度	7.0	か所
機械はつり(φ 88mm)	貫通口径 88mm・厚 250mm 程度	4.0	か所
機械はつり(φ 100mm)	貫通口径 100mm・厚 250mm 程度	2.0	か所
機械はつり(φ 125mm)	貫通口径 125mm・厚 250mm 程度	3.0	か所
貫通口封鎖処置(40A)	既設配管口径 40A	2.0	か所
貫通口封鎖処置(50A)	既設配管口径 50A	4.0	か所

e) ダクト工事

ダクト工事の項目・数量等については、表 16 による。

表 16－ダクト工事

項 目	仕様等	数量	単位
スパイラルダクト(φ 100)	φ 100 mm	3.80	m
スパイラルダクト(φ 150)	φ 150 mm	10.50	m
ベントキャップ(φ 150)	φ 150 mm・深型フード・ステンレス製	1.0	個
ベントキャップ(φ 200)	φ 200 mm・深型フード・ステンレス製	2.0	個

f) 空気調和機器

空気調和機器の項目・数量等については、表 17 による。

表 17－空気調和機器

項 目	仕様等	数量	単位
ダクト用換気扇	天井直付・φ 100mm・3 部屋用	1.0	台
ダクト用換気扇	天井直付・φ 150mm	2.0	台

件 名	射撃管制棟改修工事
-----	-----------

g) 衛生器具

衛生器具の項目・数量等については、表 18 による。

表 18－衛生器具

項 目	仕様等	数量	単位
洋式大便器	フラッシュバルブ式コンパ外便器・ 擬音装置付リモコン式ウォシュレット・ 床置床排水・付属配管接続共	2.0	組
小便器	フラッシュバルブ・壁掛・付属配管接続共	3.0	組
シャワーユニット	800×1200・サーモスタット水栓・換気グリル・ 付属配管(保温)接続共	2.0	組
掃除流し	陶器質・単水栓・付属配管接続共	1.0	組
洗面器	陶器質・単水栓・付属配管接続共	1.0	組
洗面器	陶器質・サーモスタット水栓・付属配管接続共	3.0	組
洗濯機用排水金具	VP50A・排水トラップ付・ステンスつば	2.0	個
洗濯機用横水栓	緊急止水弁付	2.0	個

h) 土工事

土工事の項目・数量等については、表 19 による。

表 19－土工事

項 目	仕様等	数量	単位
根切り	バックホウ 0.13 m ³	0.6	m ³
埋戻し	バックホウ 0.13 m ³	0.6	m ³

3.4.4 発生材処分

発生材処分の項目・数量等については、表 20 及び表 21 による。

表 20－発生材処分 1

項 目	仕様等	数量	単位
中間処理	解体系混合廃棄物	1.0	式
最終処分	安定型処分場	1.0	式
最終処分	管理型処分場(石綿含有産業廃棄物)	1.0	式

表 21－発生材処分 2

項 目	仕様等	数量	単位
発生材場内運搬	鉄くず(基地内にて)	1.0	式
産業廃棄物収集・運搬	鉄くず以外の発生材	1.0	式
産業廃棄物収集・運搬	石綿含有産業廃棄物	1.0	式

3.5 作業時間

平日の 8 時 15 分から 17 時 00 分を基準とし、これによりがたい場合は、監督官と協議する。

3.6 材料

- a) 施工に伴う使用材料は、仮設材を除きすべて新品とし、製造所から出荷された状態のものを使用するとともに、表 22 の No.6 に示す証明書を提出し、監督官から承認

件 名	射撃管制棟改修工事
-----	-----------

を得たものを使用する。

- b) 材料で規格品の指定があるものは、当該規格品又は同等品以上のものを使用する。

3.7 発生材

- a) 契約の相手方は、本工事の施工により生じた発生材のうち官側に引き継ぐもの（金属ごみ）は指定の場所まで運搬し、種類ごとに整理のうえ集積し、表 22 の No. 9 に示す調書を添えて監督官に確認を受ける。
- b) 契約の相手方は、官側へ引き渡しを要しない発生材（安定型混合廃棄物及び石綿含有産業廃棄物）は全て場外処分とし、関係法令等に基づき、適切に処分する。また、産業廃棄物として処分した場合は、表 22 の No. 11 に示す管理票の写しを監督官に提出する。

4 材料検査

材料検査は、監督官立ち合いのもと、規格、数量、黒板文字が明確に確認できるように撮影し、写真帳及び黒板の記載事項を整合させる。

5 品質保証

本工事の保証期間は、完成検査を終了した日から 1 年間とし、保証期間中に生じた欠陥による破損等は、契約の相手方の負担で速やかに補修及び交換を行う。

6 監督・検査

監督及び検査は、契約担当官が定める監督・検査実施要領による。

7 提出書類

契約の相手方が提出する書類については、表 22 のとおりとし、監督官等に提出する。

表 22－提出書類

No.	書類名称	提出時期	部数	備考
1	工程表	契約締結後、速やかに	1	
2	現場代理人等通知書	同上	1	略歴書及び資格免許等の写しを添付
3	着工届	着工日の 2 日前までに	1	
4	施工体制台帳	着工前日の 1 週間前	1	下請契約を締結した場合
5	材料検査願	着工日の 3 日前までに	1	
6	出荷証明書	同上	各 1	
7	工事打合せ簿	同上	1	
8	完成検査願書	完成検査前	1	
9	発生材調書	同上	1	
10	※写真帳	完成検査後	1	
11	※産業廃棄物管理票の写し	場外処分をした場合	1	A 票及び B 2 票の写し
12	引渡書	完成検査合格後、速やかに	1	
13	その他監督官が指示する書類	同上	1	

注) ※以外は、監督官が指示する定型様式にて作成する。

件 名	射撃管制棟改修工事
-----	-----------

8 指示等

8.1 安全管理

契約の相手方は、安全管理を十分に行い、万が一、事故等が発生した場合は、監督官に報告し速やかに処置しなければならない。

8.2 写真撮影要領

- a) 写真は、国土交通省制定「営繕工事写真撮影要領」に基づき撮影し、撮影した写真は写真帳に整理する。
- b) 撮影に際し、デジタル写真以外を使用する場合は、監督官に承諾を得たうえで、使用する。
- c) 隠ぺい箇所の撮影は、監督官の立ち会いのうえで撮影し、その他監督官が指示する場所を撮影する。

8.3 秘密の保持

契約の相手方は、契約の履行に伴い、秘密に関する事項を知り得た場合には、これを利用し、又は第三者に漏らしてはならない。

8.4 補償

契約の相手方は、工事实施に際し建物、工作物及びその他に損害を与えないための必要な措置をとるとともに、過失により、損傷を与えた場合には、速やかに監督官に報告し、契約の相手方の責任により無償にて復旧する。

8.5 基地内共通事項

- a) 分屯基地内の通行及び行動は、法令及び分屯基地で定めた規則を遵守する。
- b) 契約の相手方は、分屯基地及び分屯基地の施設への立ち入りに関し、規則に基づく所要の手続きを実施し、分屯基地司令等の許可を受ける。また、本工事に関係しない場所への立入りは厳禁とする。
- c) 契約の相手方は、工事履行の現場において分屯基地の電力及び給水を使用する場合は官側のものを使用する事ができる。ただし、事前に監督官と調整する。
- d) 喫煙、飲食等の場所については、監督官等の指示を受ける。
- e) 上記以外の細部事項については、監督官等の指示を受ける。

9 その他

9.1 本工事は、完全週休2日制（土日）の施行対象工事である。

9.2 週休2日の考え方

- a) 完全週休2日制（土日）とは、対象期間の全ての週において、原則として土曜日及び日曜日を現場閉所（現場休息）日に指定し、2日以上現場閉所（現場休息）を行なったと認められる状態をいう。ただし、対象期間の日数が7日に満たない週においては、当該週の土曜日及び日曜日の合計日数以上の現場閉所（現場休息）を行っていただければ、達成しているとみなす。また、土曜日又は日曜日に現場作業を行うこととされている場合は、受発注者間で協議した上で、当該曜日に代わる曜日を現場閉所日（現場休息日）に指定するものとする。

月単位の週休2日とは、対象期間内における全ての月で現場閉所（現場休息）日数の割合が28.5%（8日／28日）以上の水準に達する状態をいう。ただし、暦上の土曜日及び日曜日の日数の割合が28.5%に満たない月においては、当該月

件 名	射撃管制棟改修工事
-----	-----------

の土曜日及び日曜日の合計日数以上の現場閉所を行っている状態をいう。

通期の週休 2 日とは、対象期間において、28.5%（8 日／28 日）以上の現場閉所（現場休息）を行ったと認められることをいう。

なお、降雪、出水期、猛暑日等による予定外の現場閉所についても、現場閉所日数に含めるものとする。

- b) 対象期間は、工事着手日から工事完成日までの期間とするが、そのうち、年末年始 6 日間及び夏季休暇 3 日間、工場製作のみの期間、工事全体の一時中止期間、受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間などは含まない。
- c) 現場閉所日とは、巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、1 日を通して現場及び現場事務所が閉所された日をいう。

9.3 現場閉所実績報告書

受注者は、毎月末までに現場閉所実績報告書を作成し、翌月 10 日までに監督官へ提出するものとする。ただし、工事完成月については、監督官が指定する日までに現場閉所実績報告書を提出するものとする。

9.4 総合工事工程表の作成

受注者は、発注時の設計図書や発注者から明示される事項を踏まえ、総合工事工程表を作成する。

総合工事工程表を作成するに当たっては、当該工事の規模及び難易度、地域の実情、自然条件、工事内容、施工条件等のほか、建設工事に従事する者の週休 2 日の確保等、下記の条件を適切に考慮する。

- a) 建設工事に従事する者の休日（週休 2 日に加え、祝日、年末年始及び夏季休暇）の確保
- b) 建設業者が施工に先立って行う労務・資機材の調達、調査・測量、現場事務所の設置等の「施工準備期間」
- c) 施工終了後の自主検査、後片付け、清掃等の「後片付け期間」
- d) 降雪、出水期、猛暑日等の作業不能日数

9.5 工事工程の共有

- a) 工事において、受発注者間で工事工程のクリティカルパスを共有し、工程に影響する事項がある場合には、その事項の処理対応者を明確にするものとする。
- b) 円滑な協議を行うため、施工当初において工事工程（特にクリティカルパス）と関連する案件の処理期限（誰がいつまでに処理し、どの作業と関連するのか）について、受発注者で共有するものとする。
- c) 工事工程の共有に当たっては、必要に応じて下請け業者（専門工事業業者等の技術者等）を含めるなど、共有する工程が現場実態にあったものとなるよう配慮するものとする。
- d) 工程に変更が生じた場合には、その要因と変更後の工事工程について受発注者間で共有すること。また、工程の変更理由が受注者の責によらない場合は、適切に工期の変更を行うものとする。

9.6 現場閉所の達成状況及び精査

対象期間における全ての週において完全週休 2 日（土日）が達成できていない又は月単位の週休 2 日が達成できていない場合は、補正した労務費（公共工事設計労務単価、電気通信技術者、電気通信技術員及び機械設備据付工）、現場管理費及び市場単価等を、

件 名	射撃管制棟改修工事
-----	-----------

請負代金額の変更により減額するものとする。

10 問い合わせ

この仕様書についての問い合わせ及び監督官との調整は、航空自衛隊武山分屯基地
(代表電話番号 0 4 6 - 8 5 6 - 1 2 9 1 (内線 : 5 3 6) (担当 : 山元)) とする。

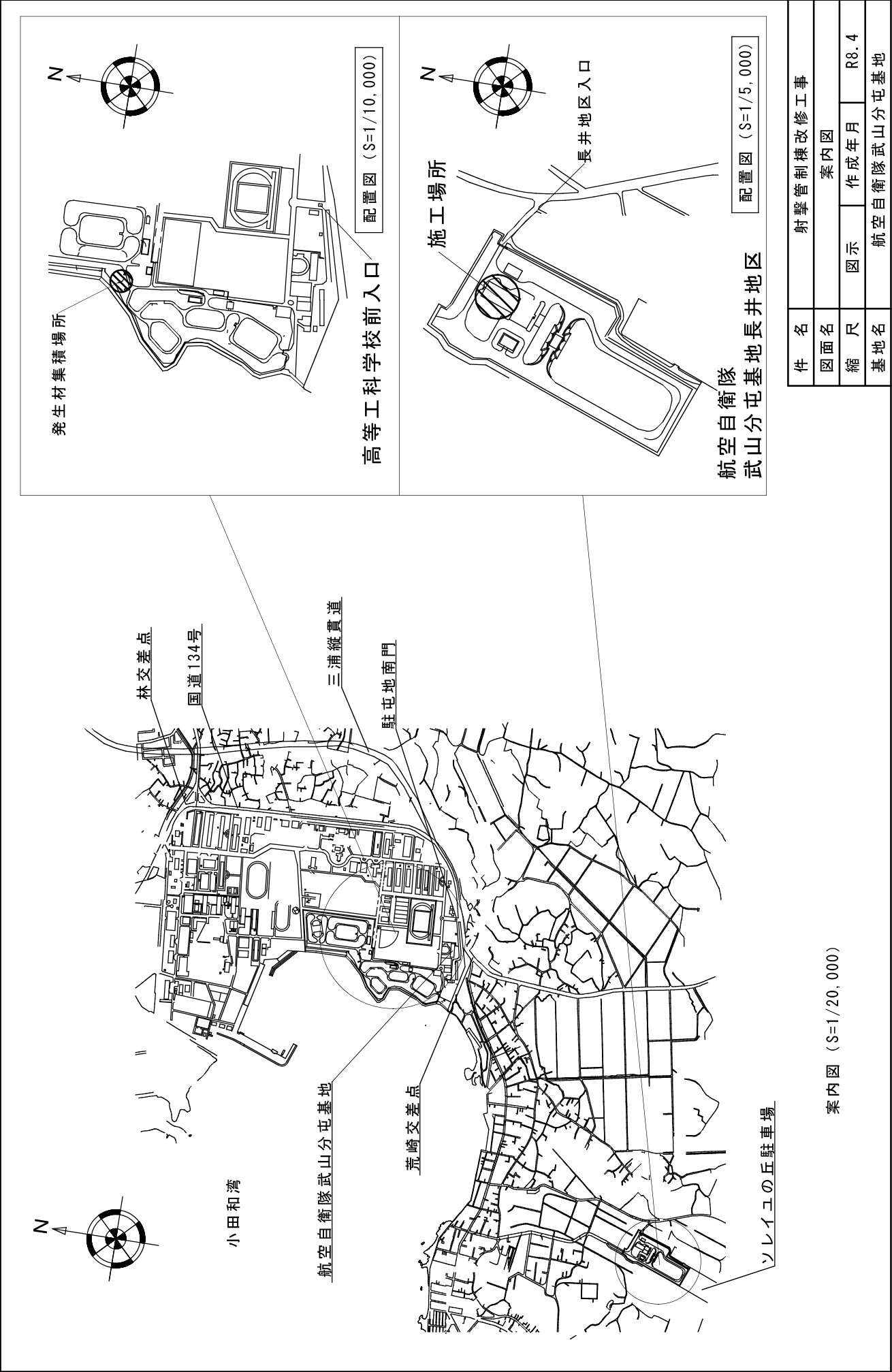


図 1 一案内図

案内図 (S=1/20, 000)

件 名	射撃管制棟改修工事		
図面名	案内図		
縮 尺	図示	作成年月	R8. 4
基地名	航空自衛隊武山分屯基地		

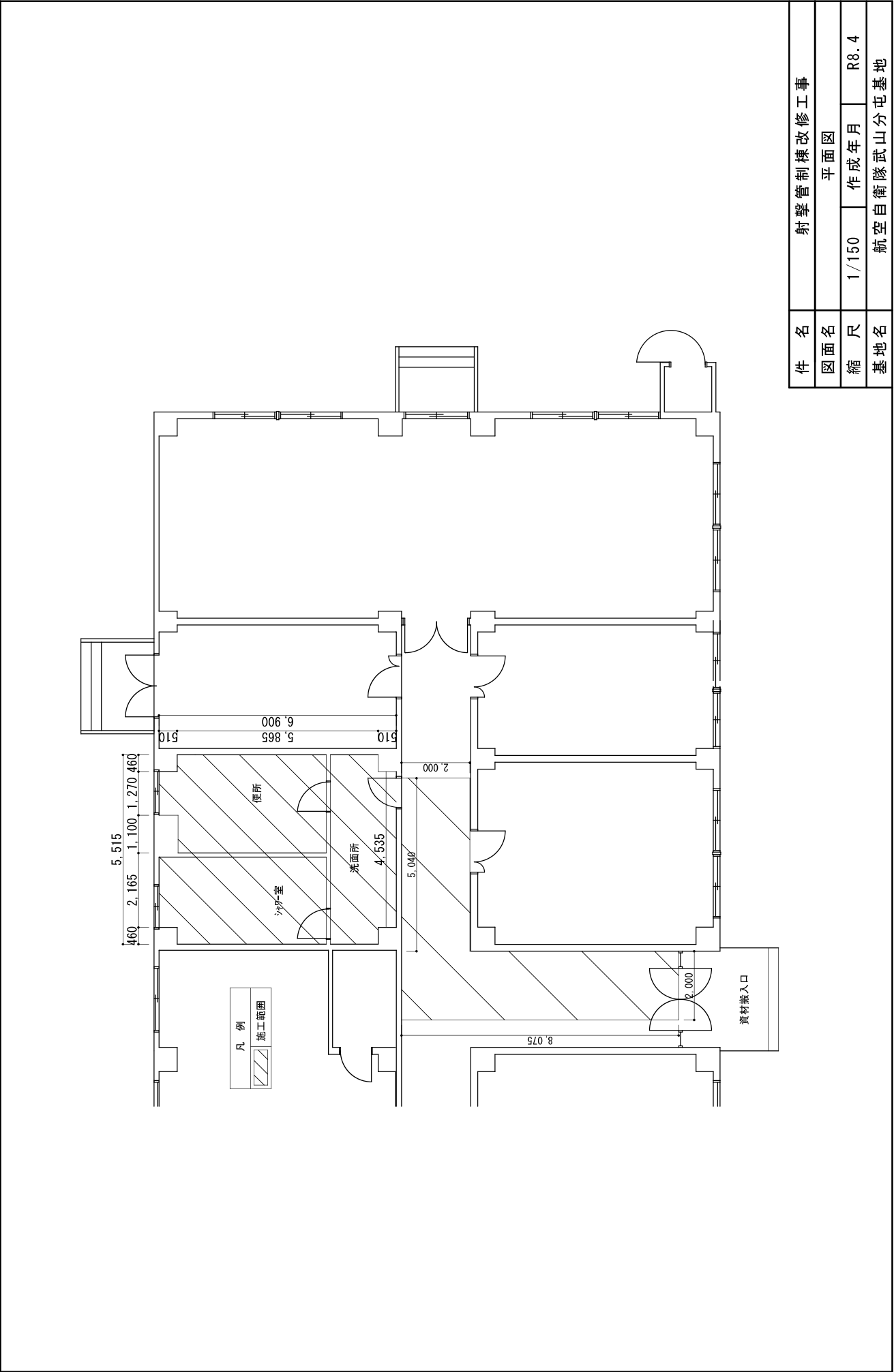


図 2 一 平面図

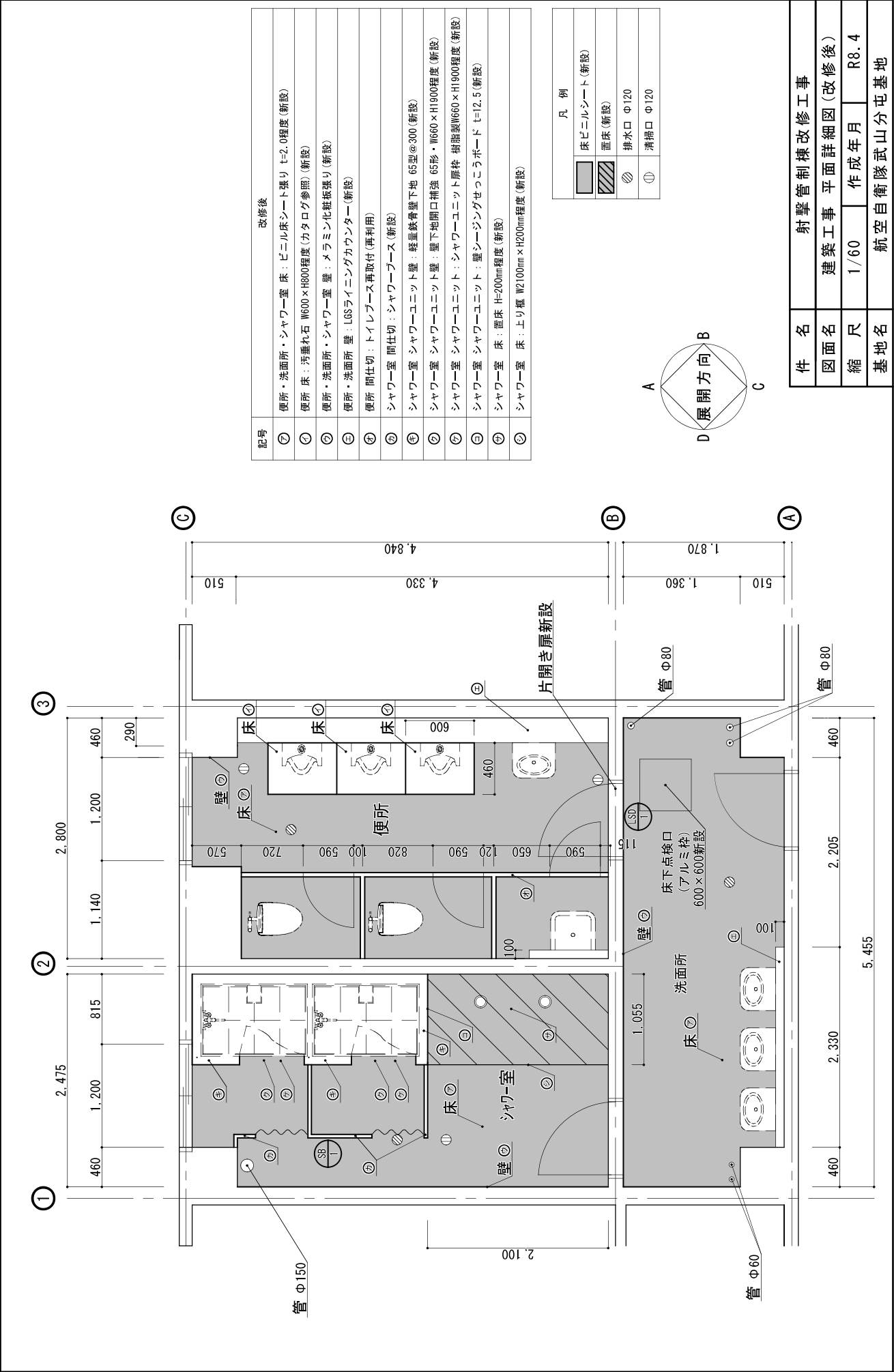


図 4 一 建築工事 平面詳細図(改修後)

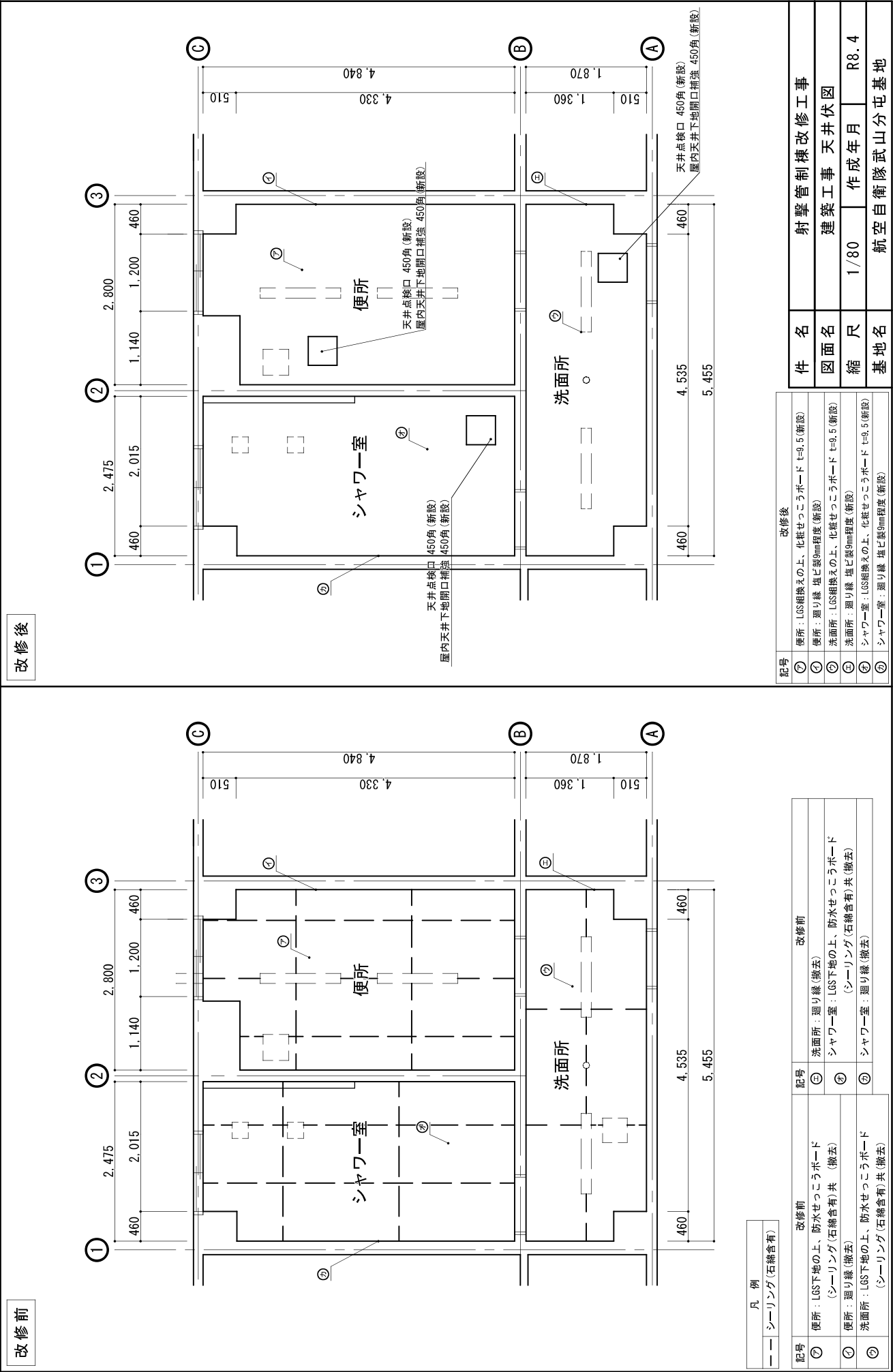
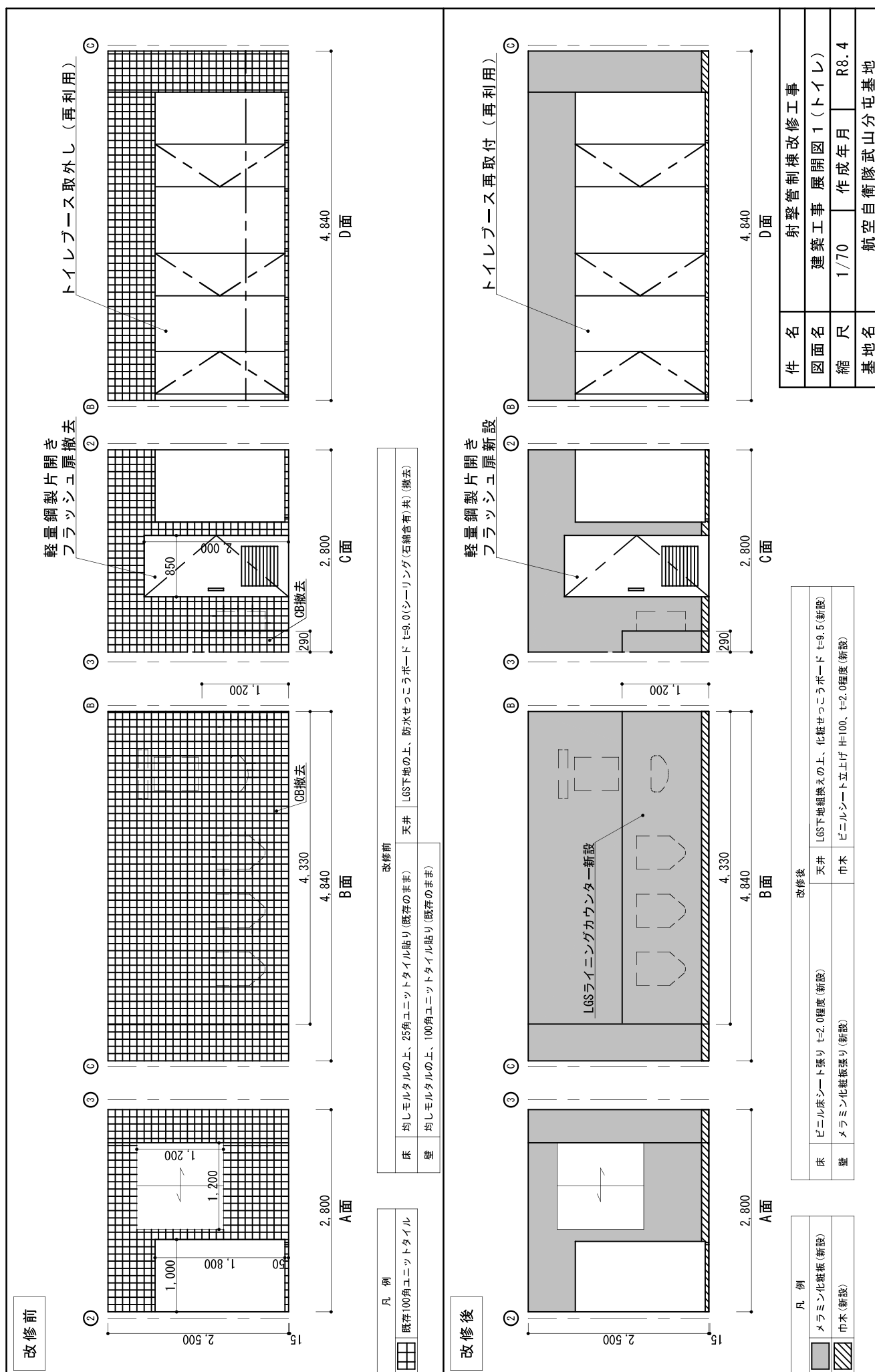
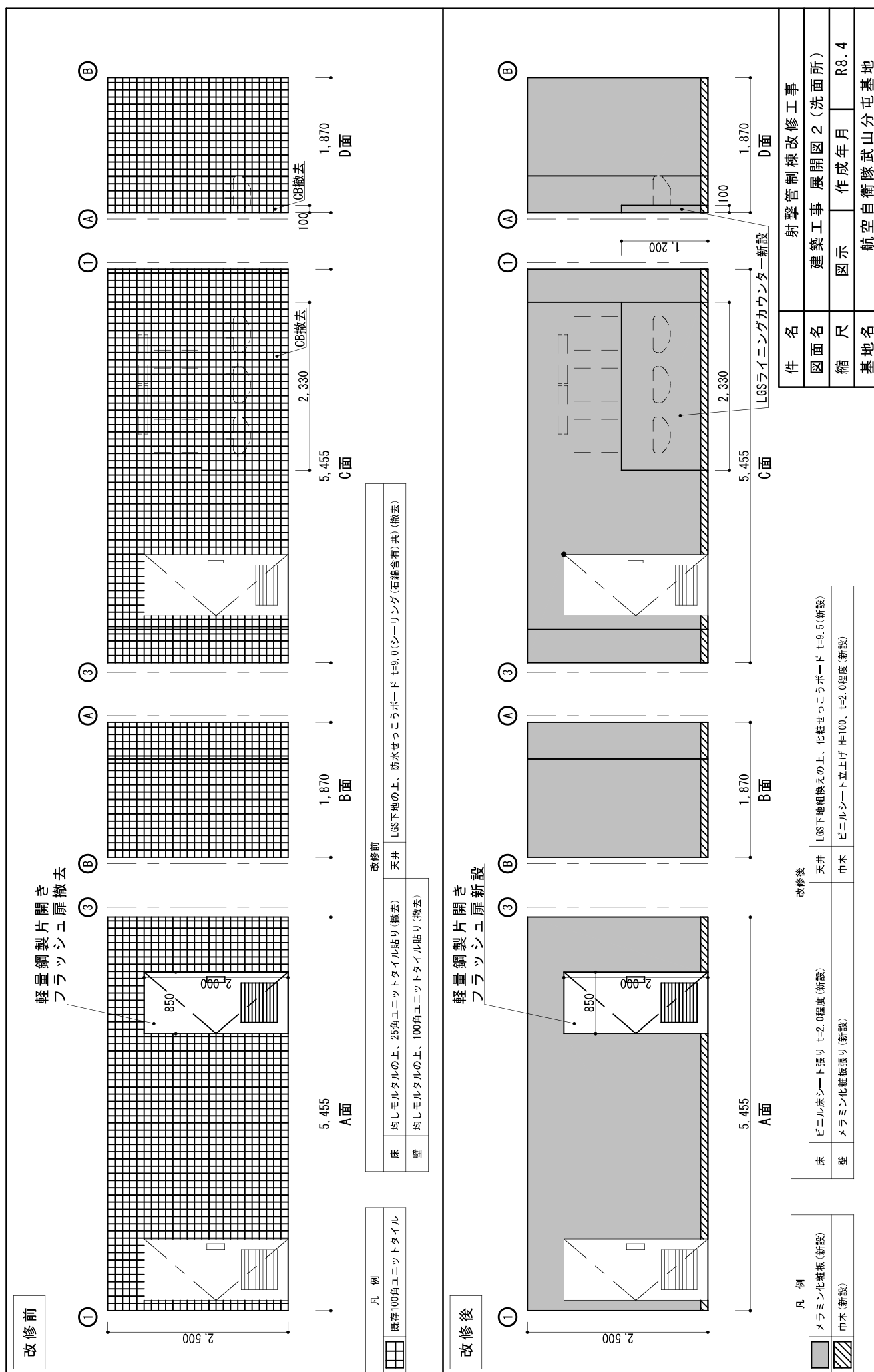
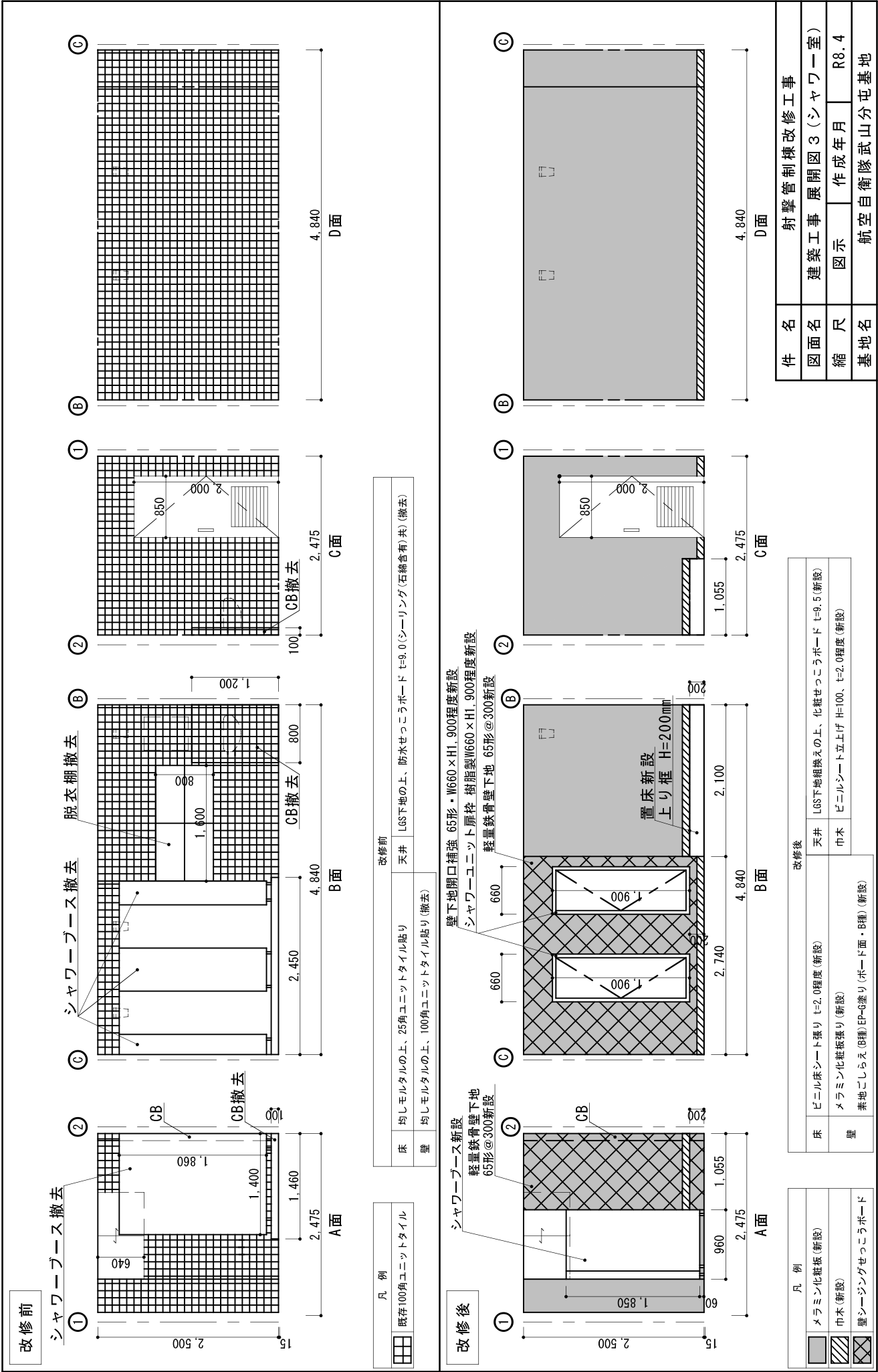
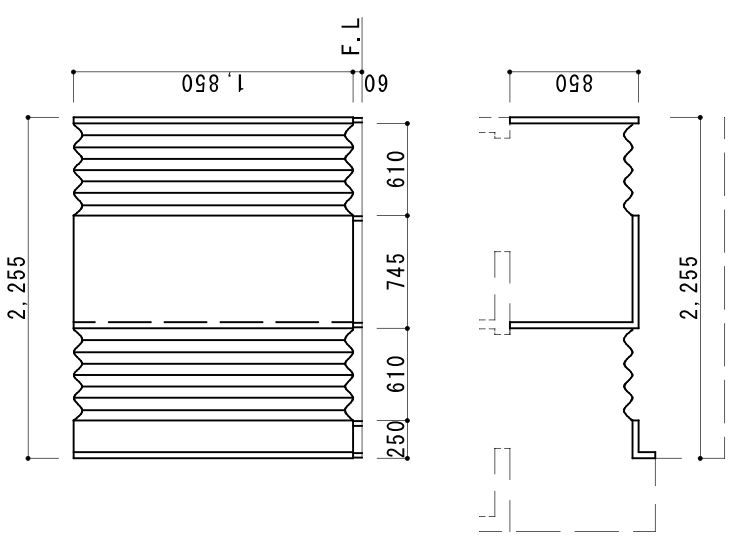


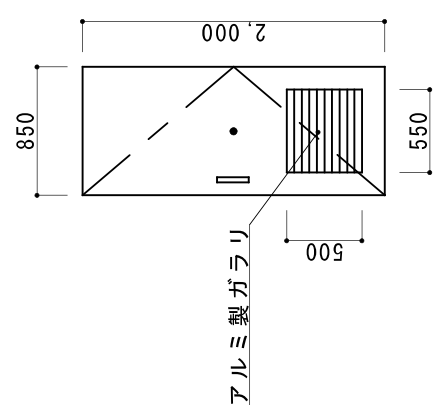
図 5 - 建築工事 天井伏図





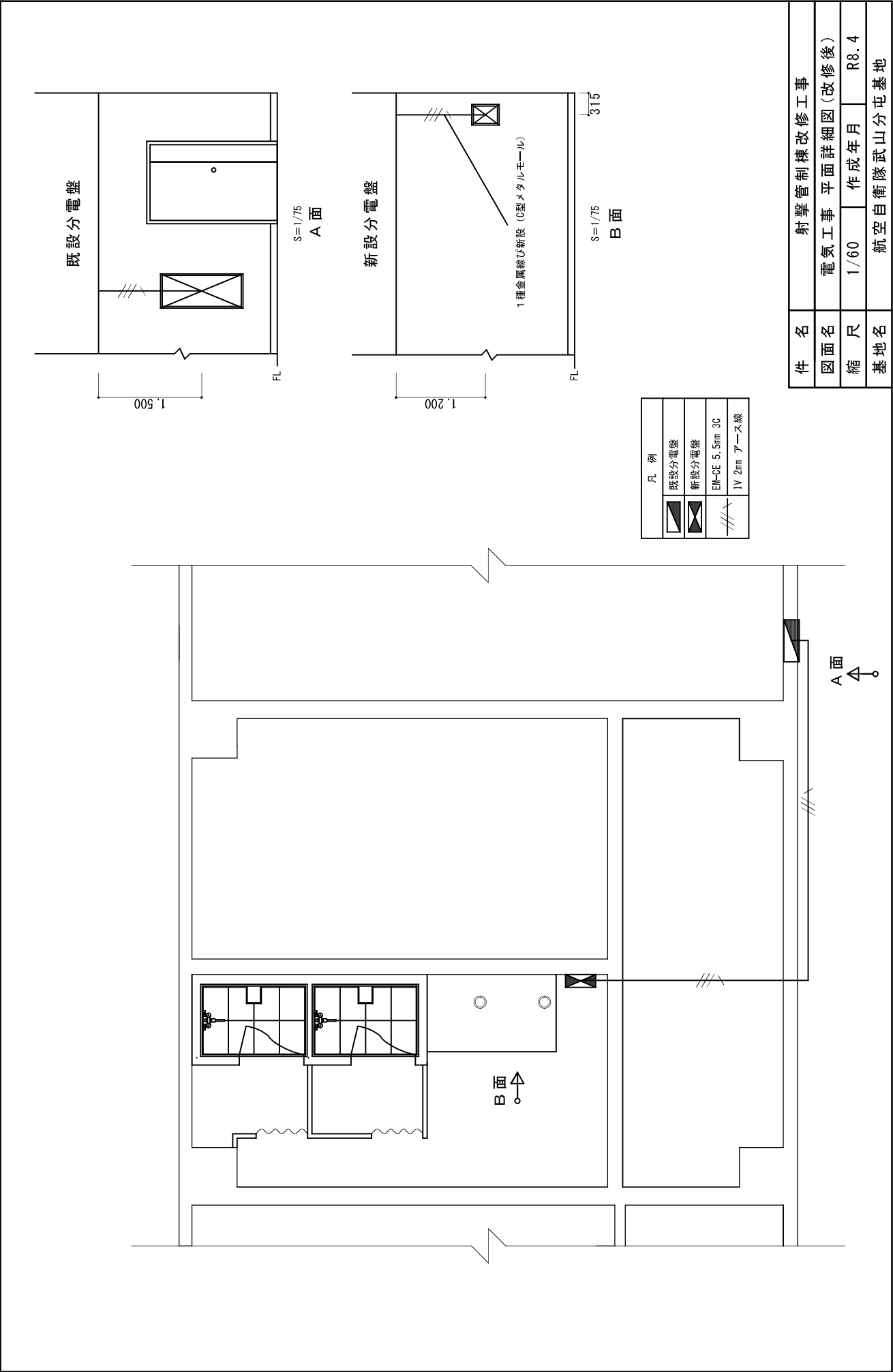


符号	SB 1	シャワーブース
		 Front elevation dimensions: Total width 2,255; Top section width 1,850; Top section height 60; Bottom section height 250; Bottom section width 610; Total height 745. F.L. (Finish Line) is indicated. Side elevation dimensions: Total width 2,255; Top section width 850.
仕様	数量	1
仕上	高圧メラミン樹脂化粧板(心材:ペーパーコア)	パネル厚 40mm程度
建築金物	アルミ笠木・アジャストサポート・器具取付補強	
その他	カーテン・カーテンレール	
	他メーカー仕様による。	

符号	LSD 1	軽量鋼製片開きフラッシュ扉
		 Door dimensions: Total width 2,000; Total height 850; Frame width 550; Frame height 500. Detail: アルミ製ガラリ (Aluminum mesh).
		※ 扉のみ交換とし、枠は既存のまま
仕様	数量	1
仕上	工場塗装	既存枠幅・扉見込 180mm、36mm以上
ガラリ	アルミ製	
建築金物	ドアローザー、丁番	
その他	他メーカー仕様による。	

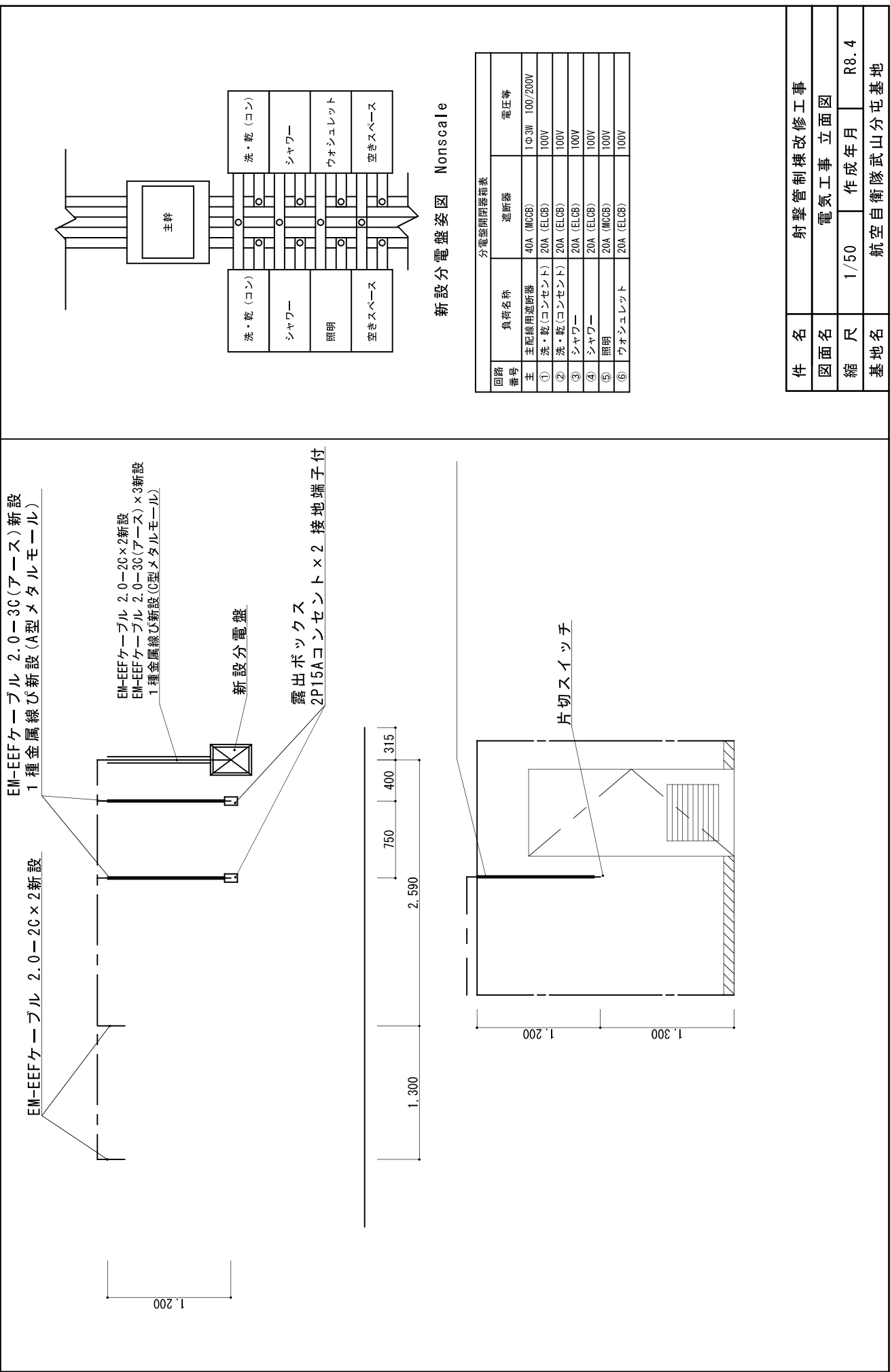
件名	射撃管制棟改修工事		
図面名	建築工事 建具表		
縮尺	図示	作成年月	R8.4
基地名	航空自衛隊武山分屯基地		

図 9 - 建築工事 建具表



件 名	射撃管制棟改修工事		
図面名	電気工事 平面詳細図 (改修後)		
縮 尺	1/60	作成年月	R8. 4
基地名	航空自衛隊武山分屯基地		

図10—電気工事 平面詳細図 (改修後)



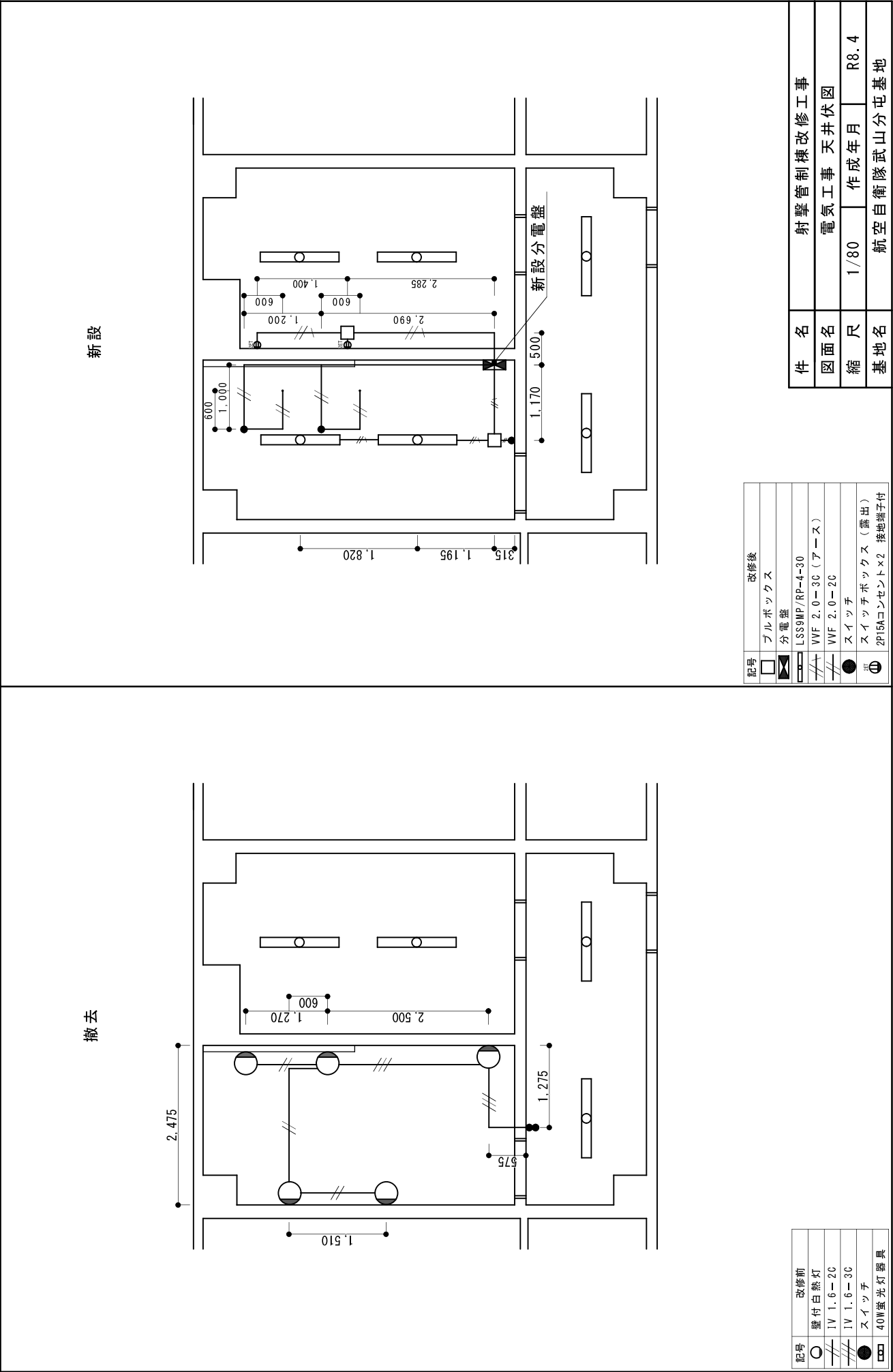


図12一電気工事 天井伏図

23

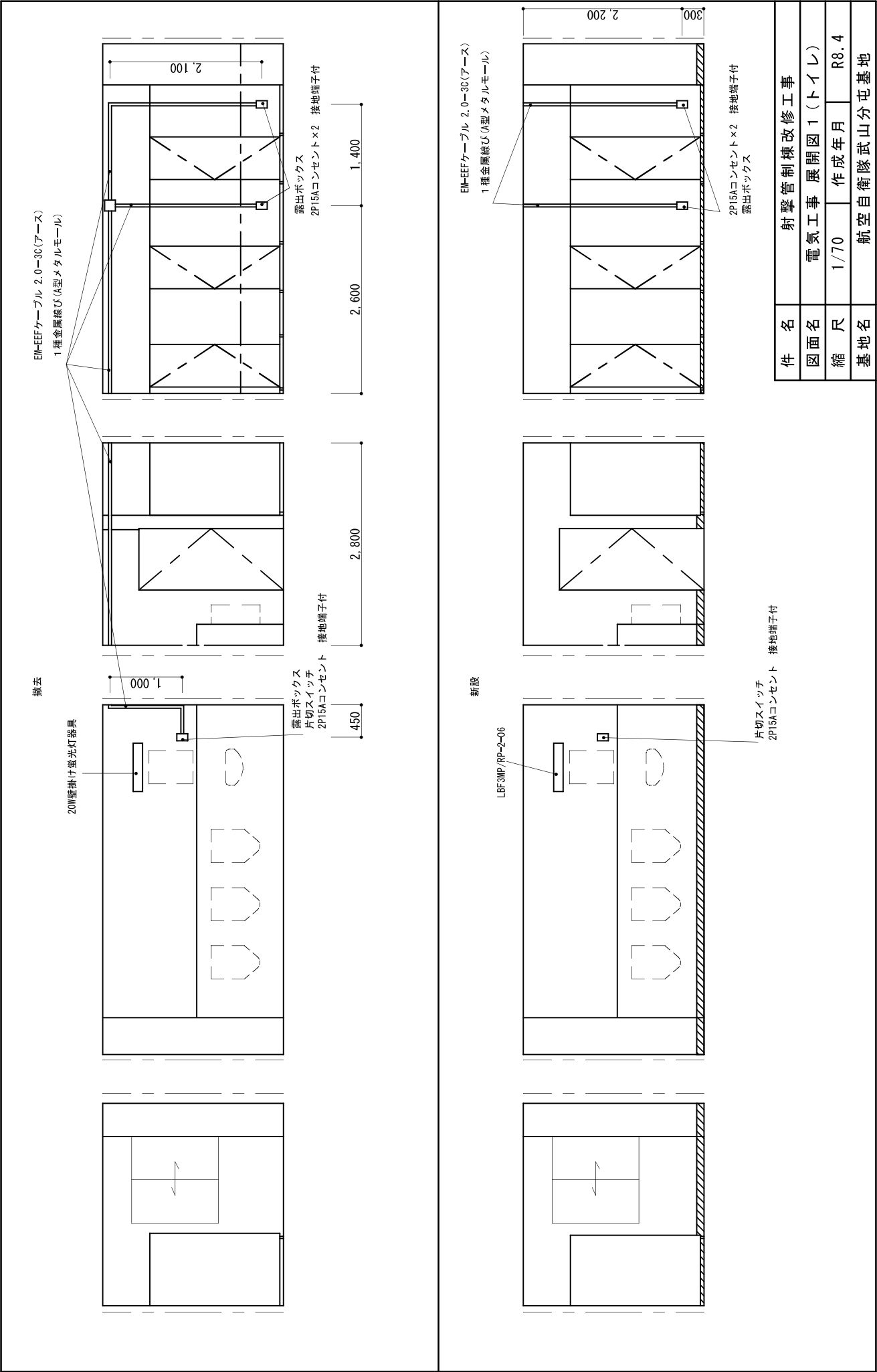
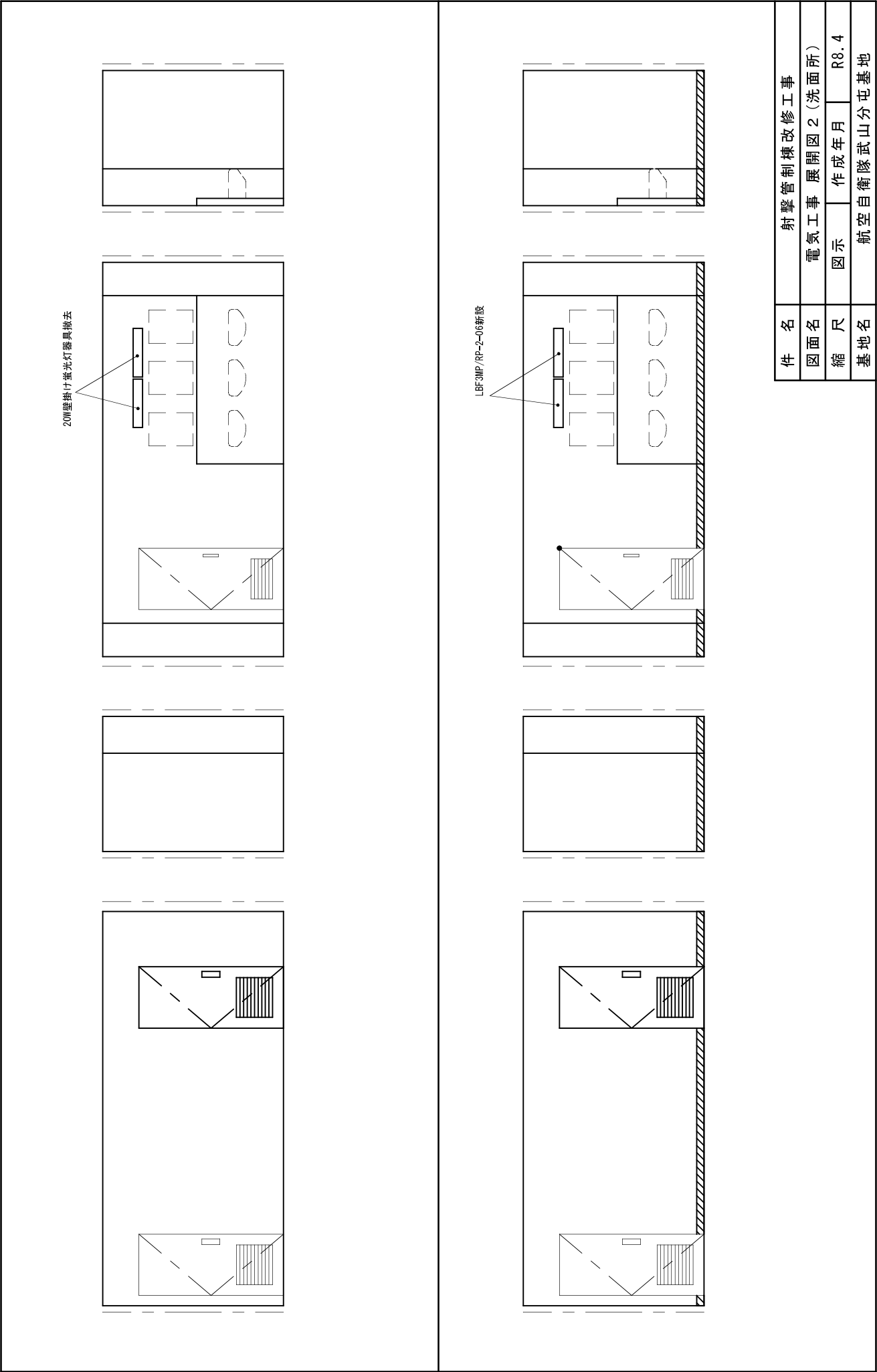


図13—電気工事 展開図 1 (トイレ)



件名	射撃管制棟改修工事		
図面名	電気工事 展開図 2 (洗面所)		
縮尺	図示	作成年月	R8.4
基地名	航空自衛隊武山分屯基地		

図14—電気工事 展開図 2 (洗面所)

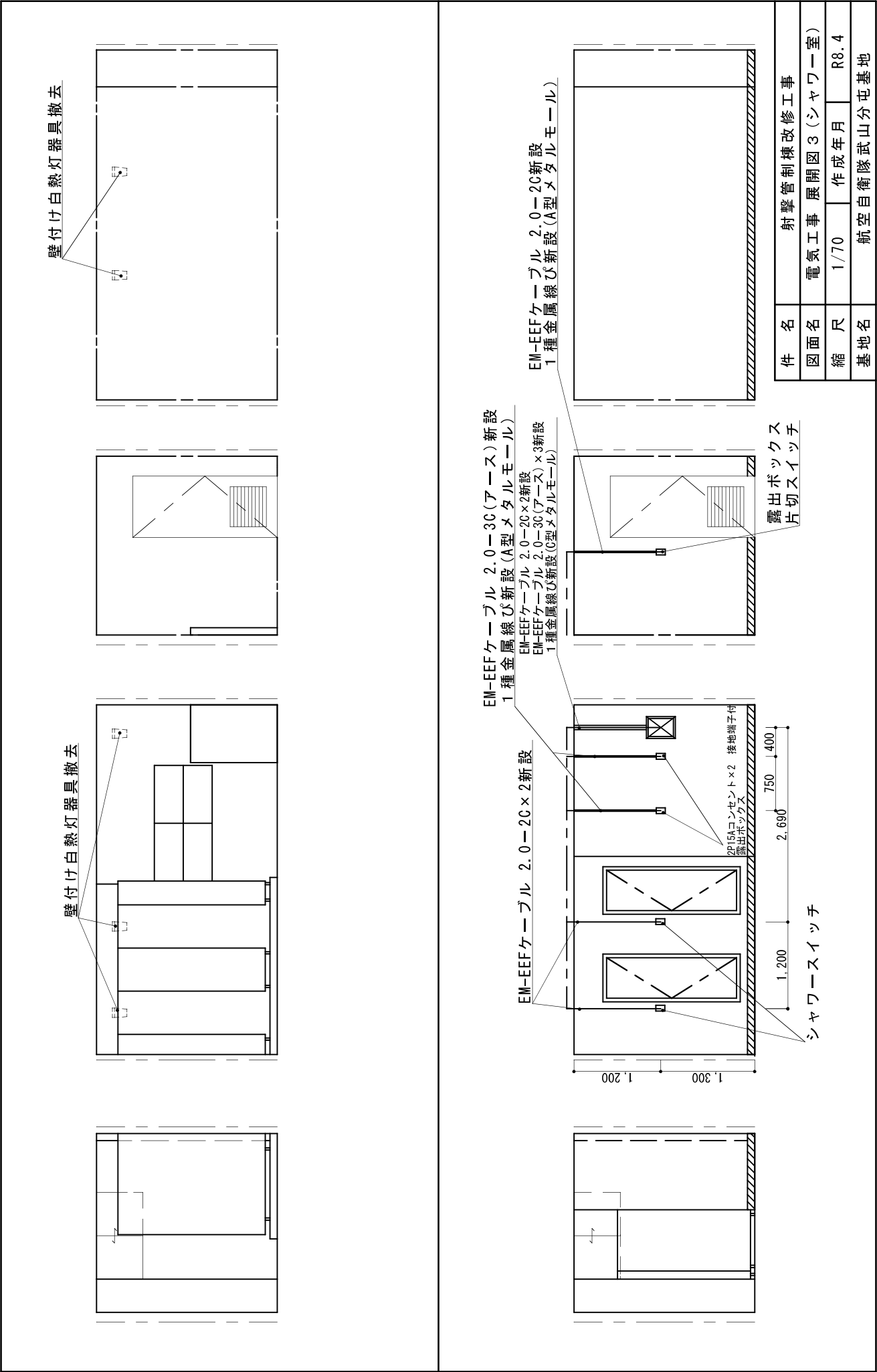


図15—電気工事 展開図 3 (シャワー室)

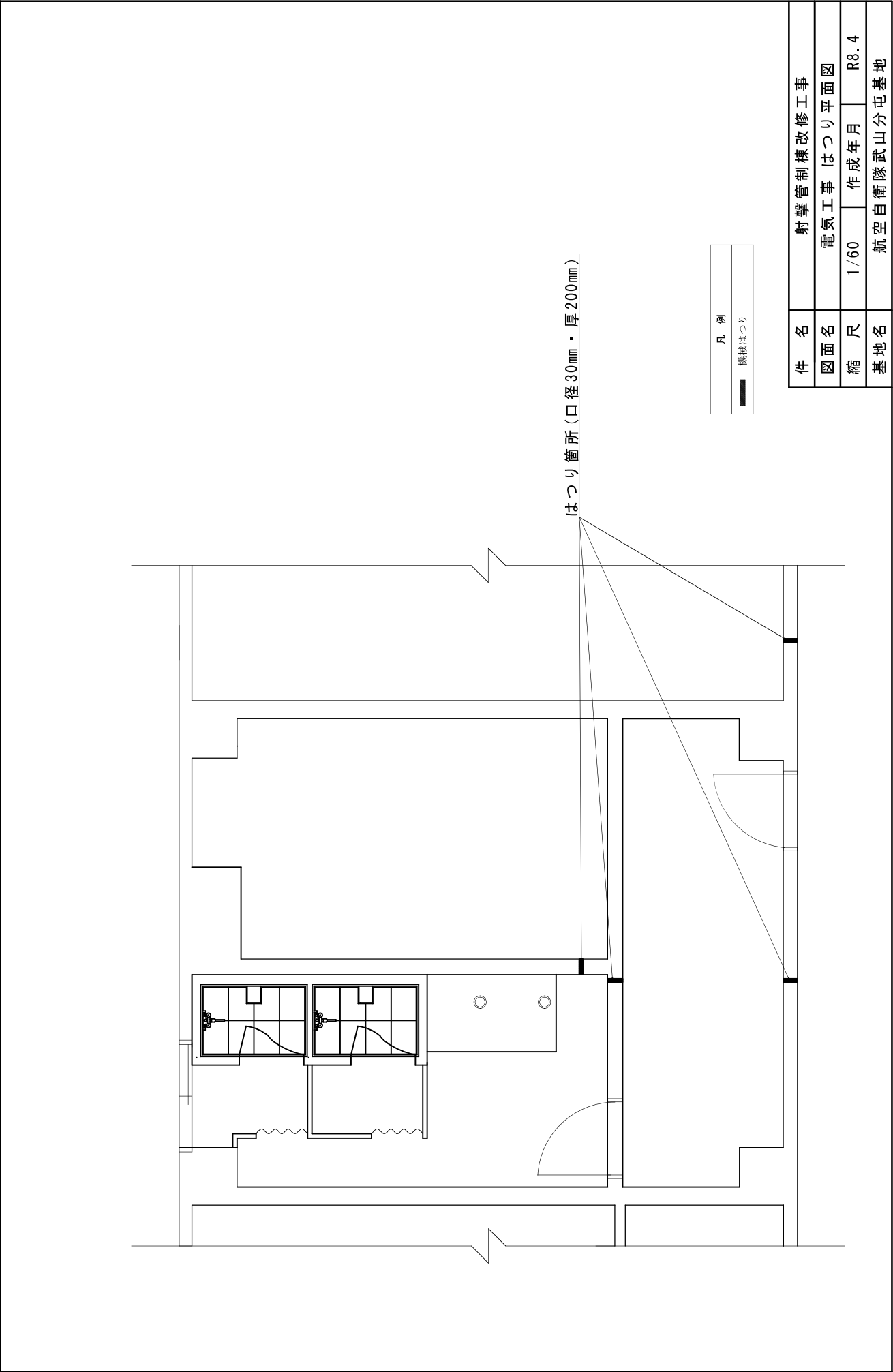
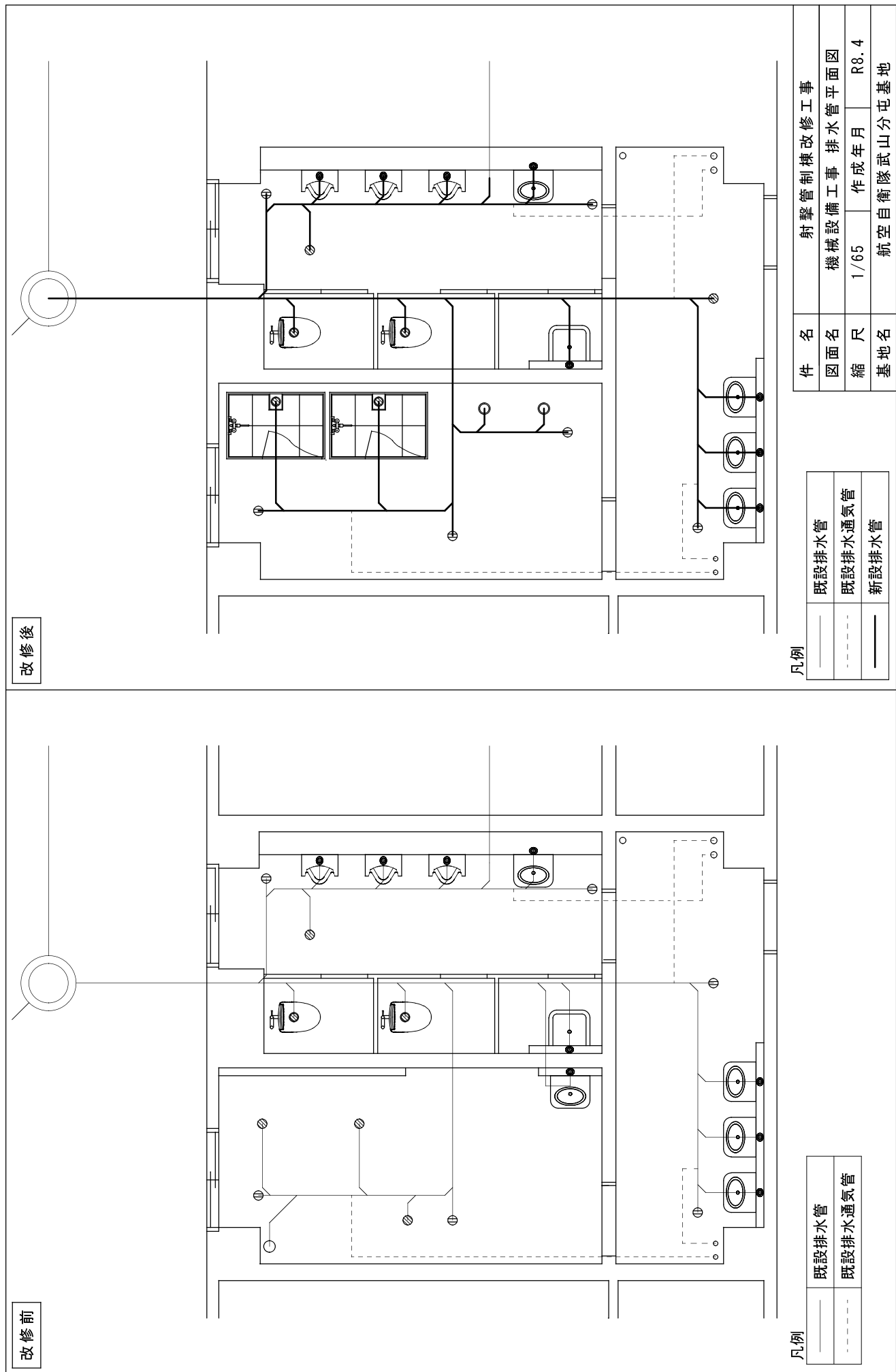


図16一電気工事 はつり平面図



件名	射擊管制棟改修工事		
図面名	機械設備工事 排水管平面図		
縮尺	1/65	作成年月	R8.4
基地名	航空自衛隊武山分屯基地		

既設排水管	——
既設排水通氣管	- - - -
新設排水管	——

図17—機械設備工事 排水管平面図

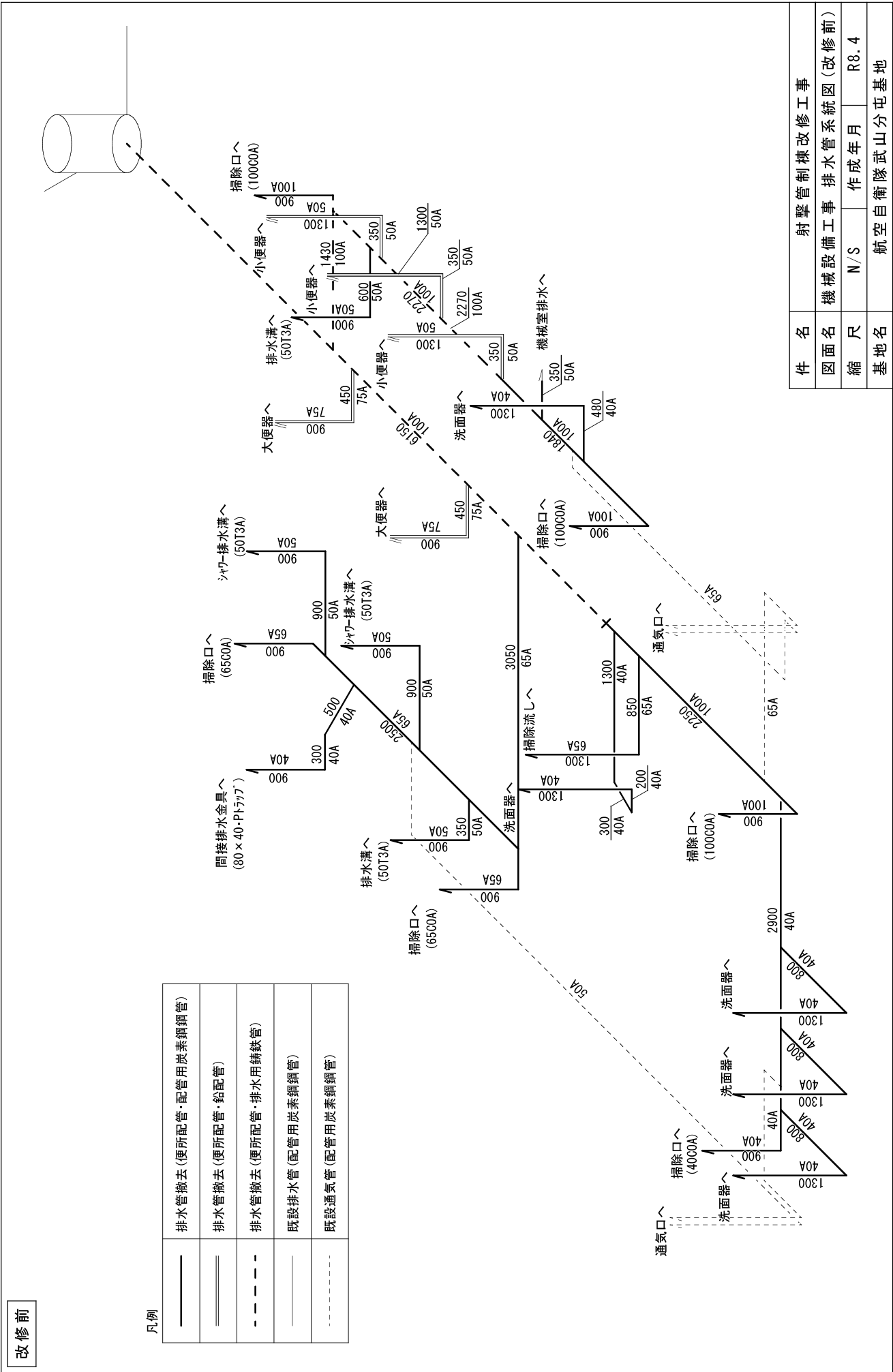


図18—機械設備工事 排水管系統図 (改修前)

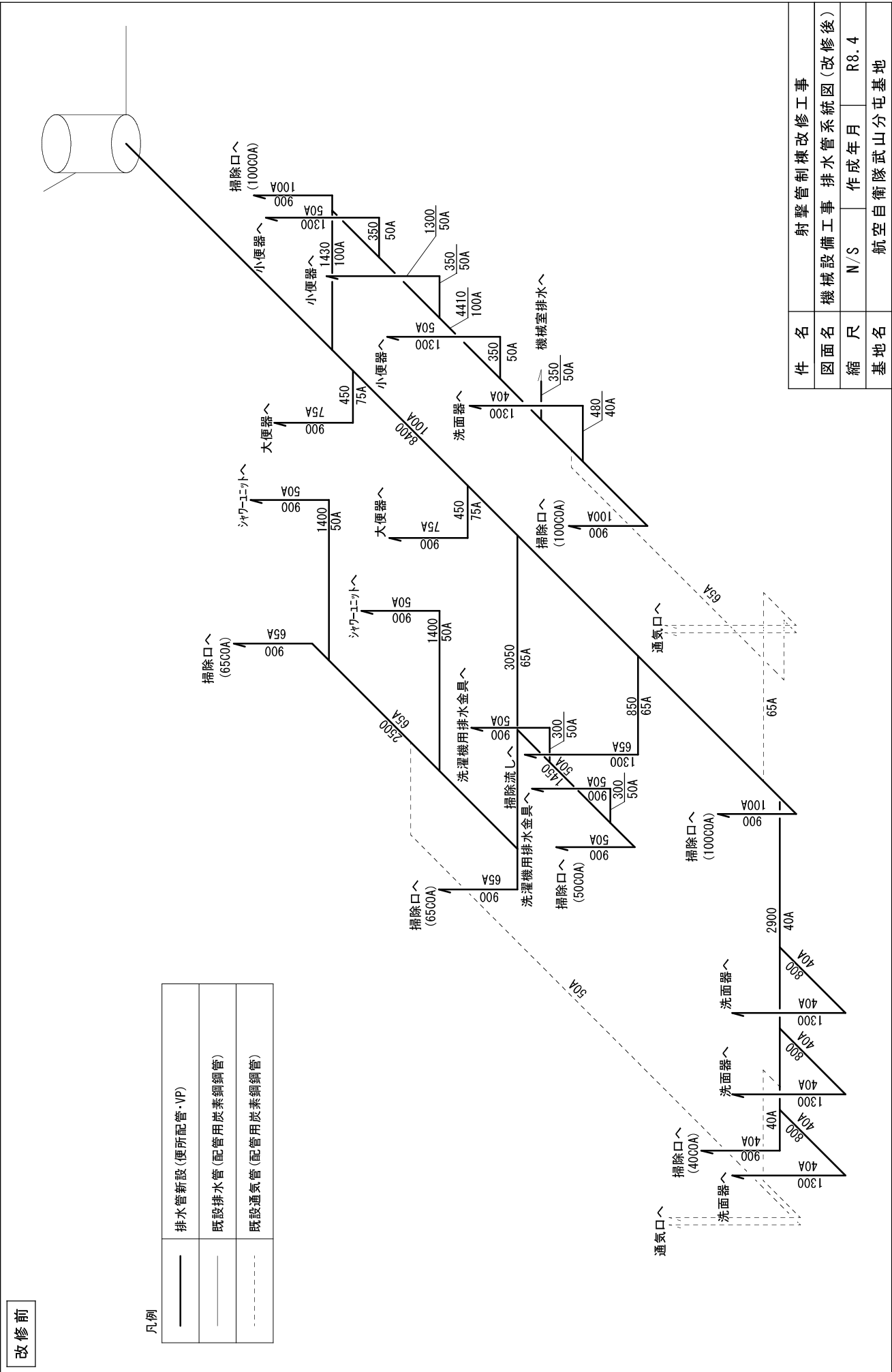


図19—機械設備工事 排水管系統図 (改修後)

30

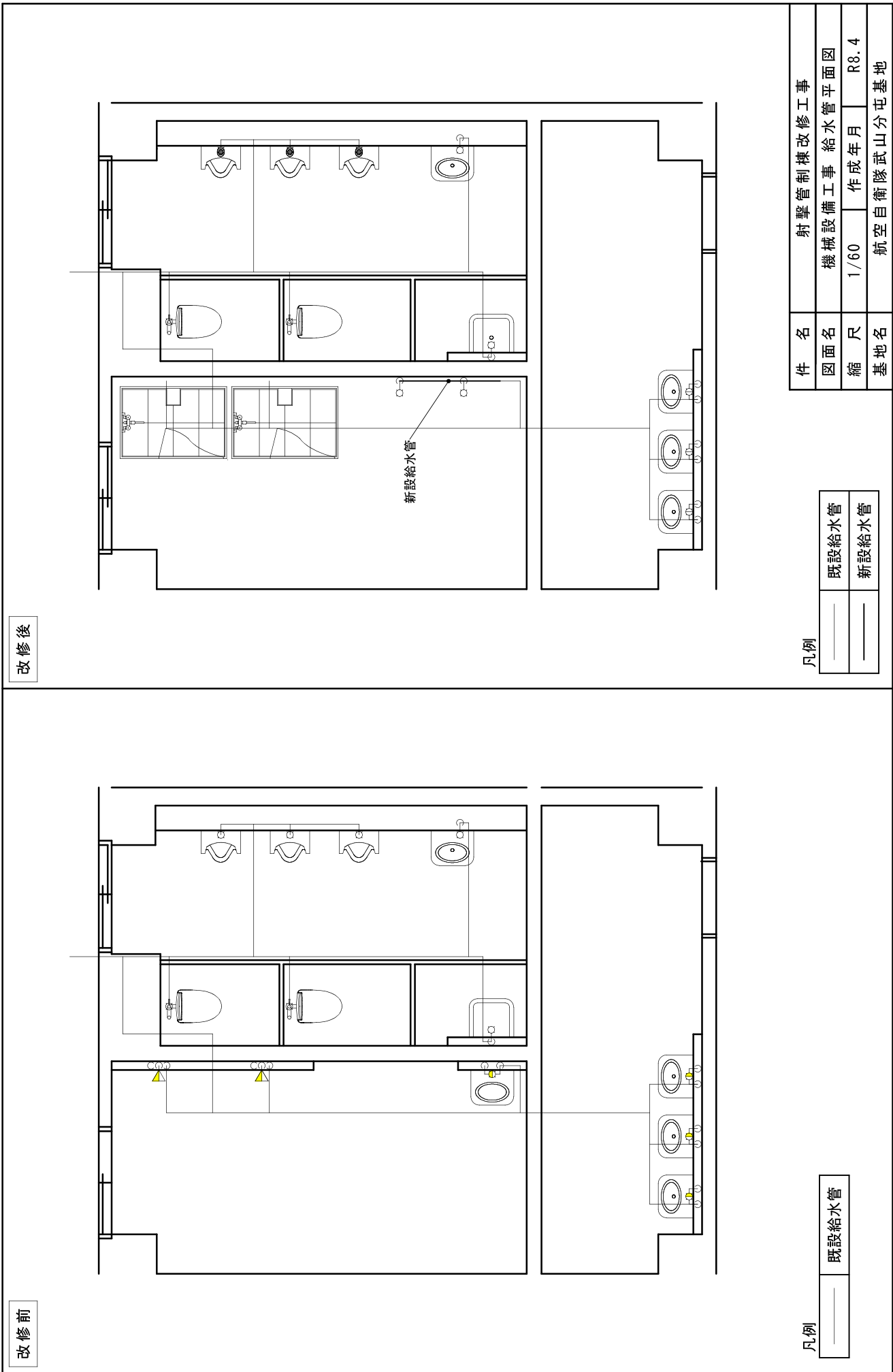
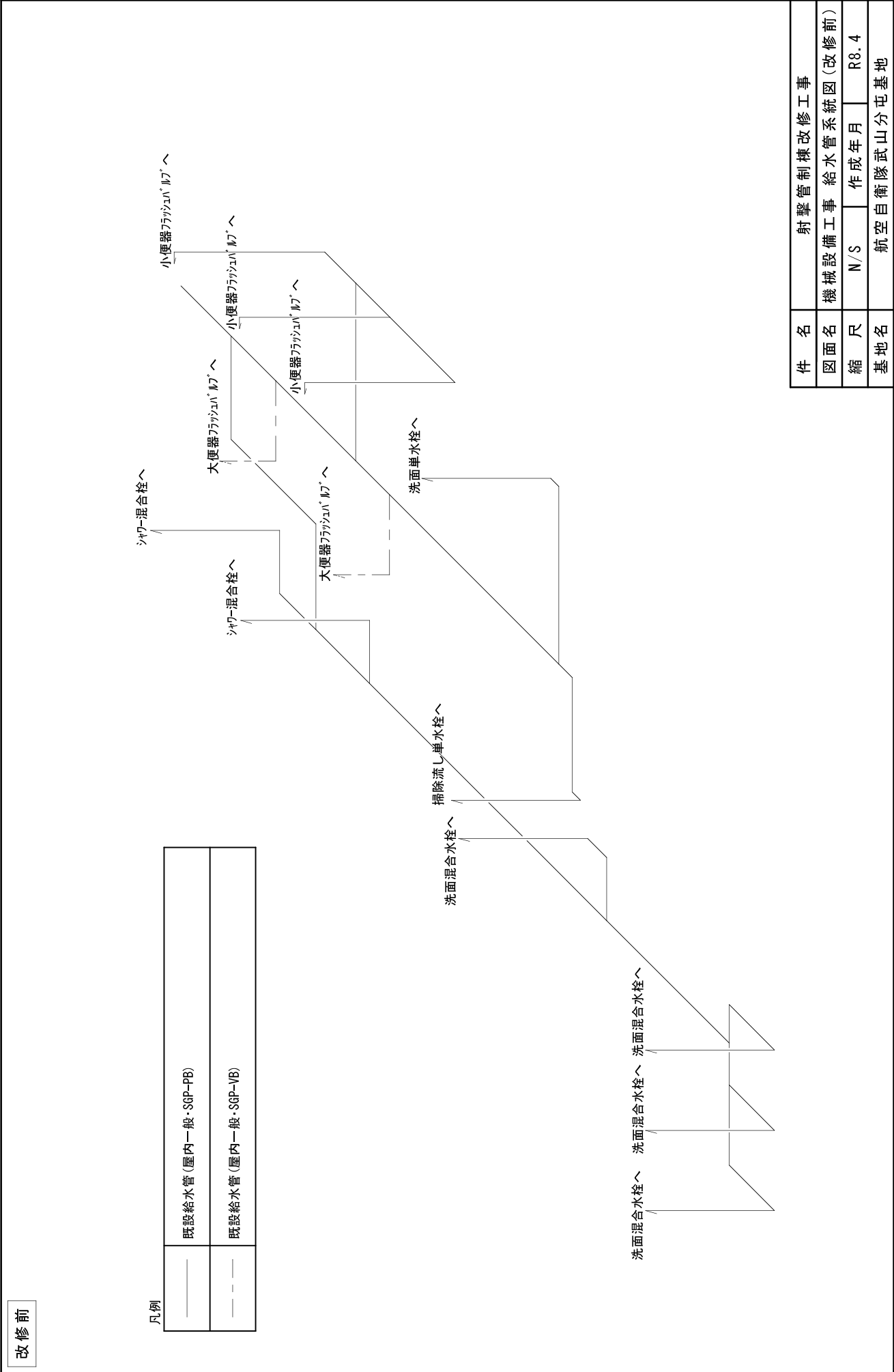


図20—機械設備工事 給水管平面図



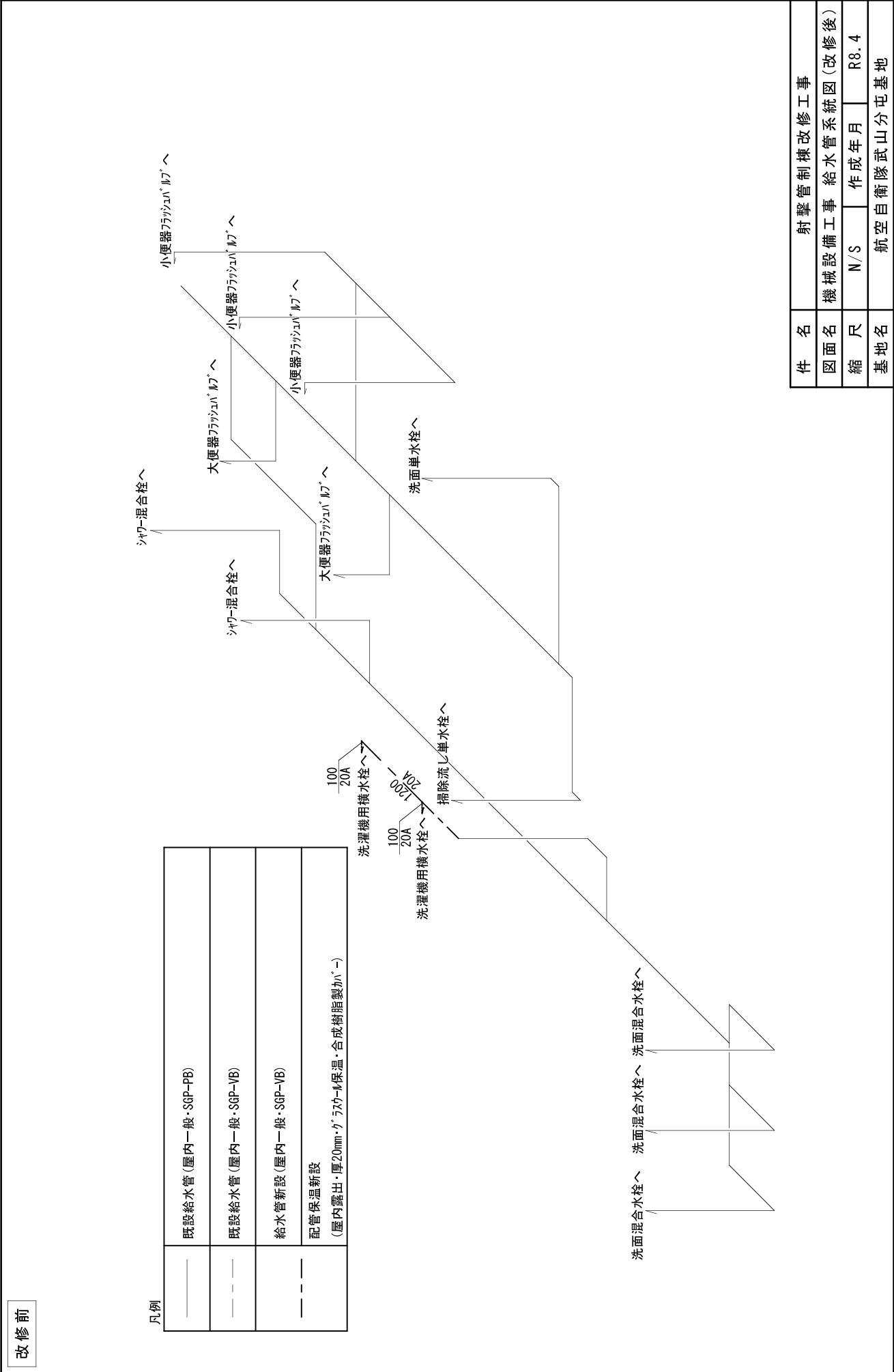


図22—機械設備工事 給水管系統図 (改修後)

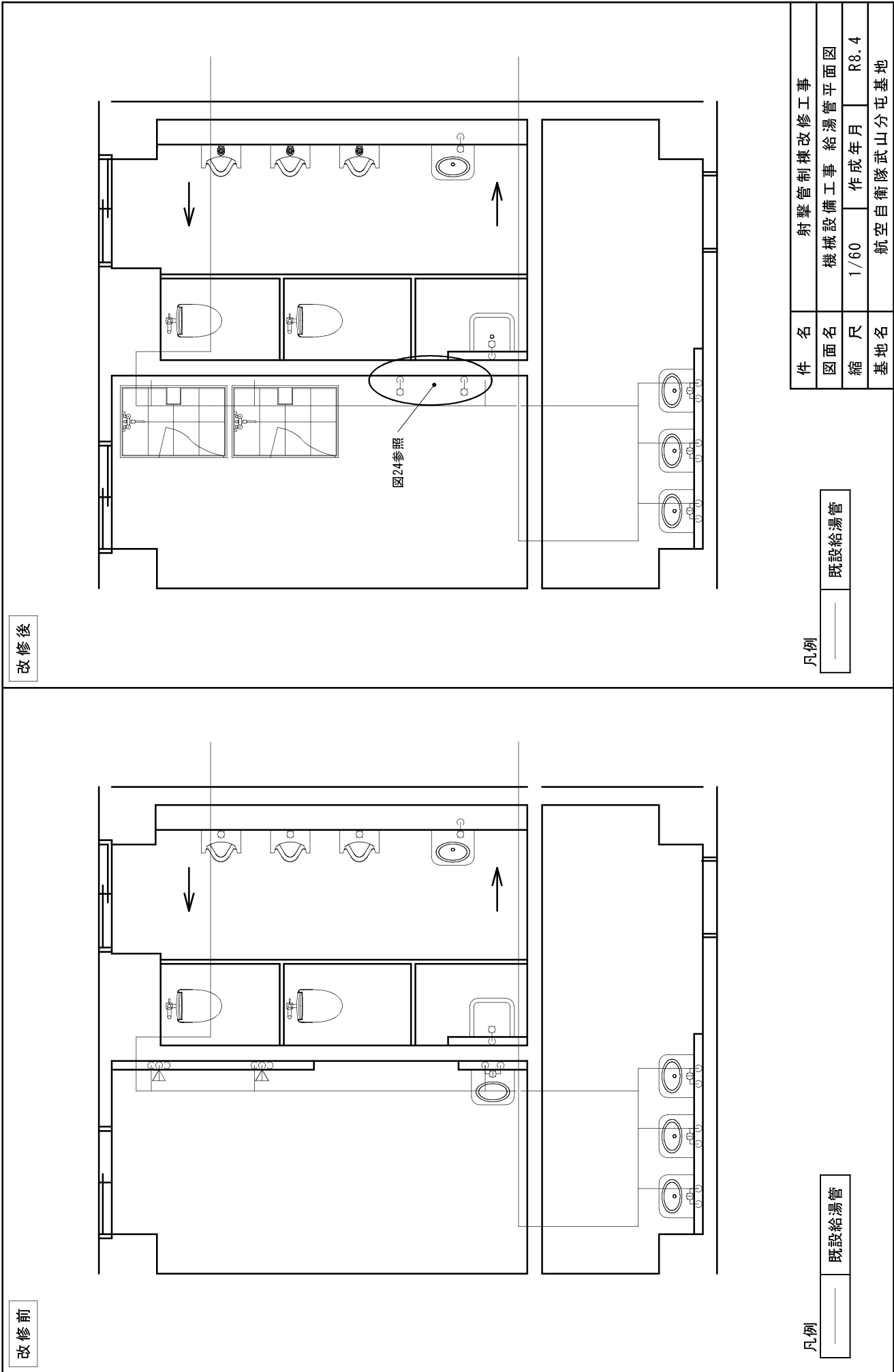


図23—機械設備工事 給湯管平面図

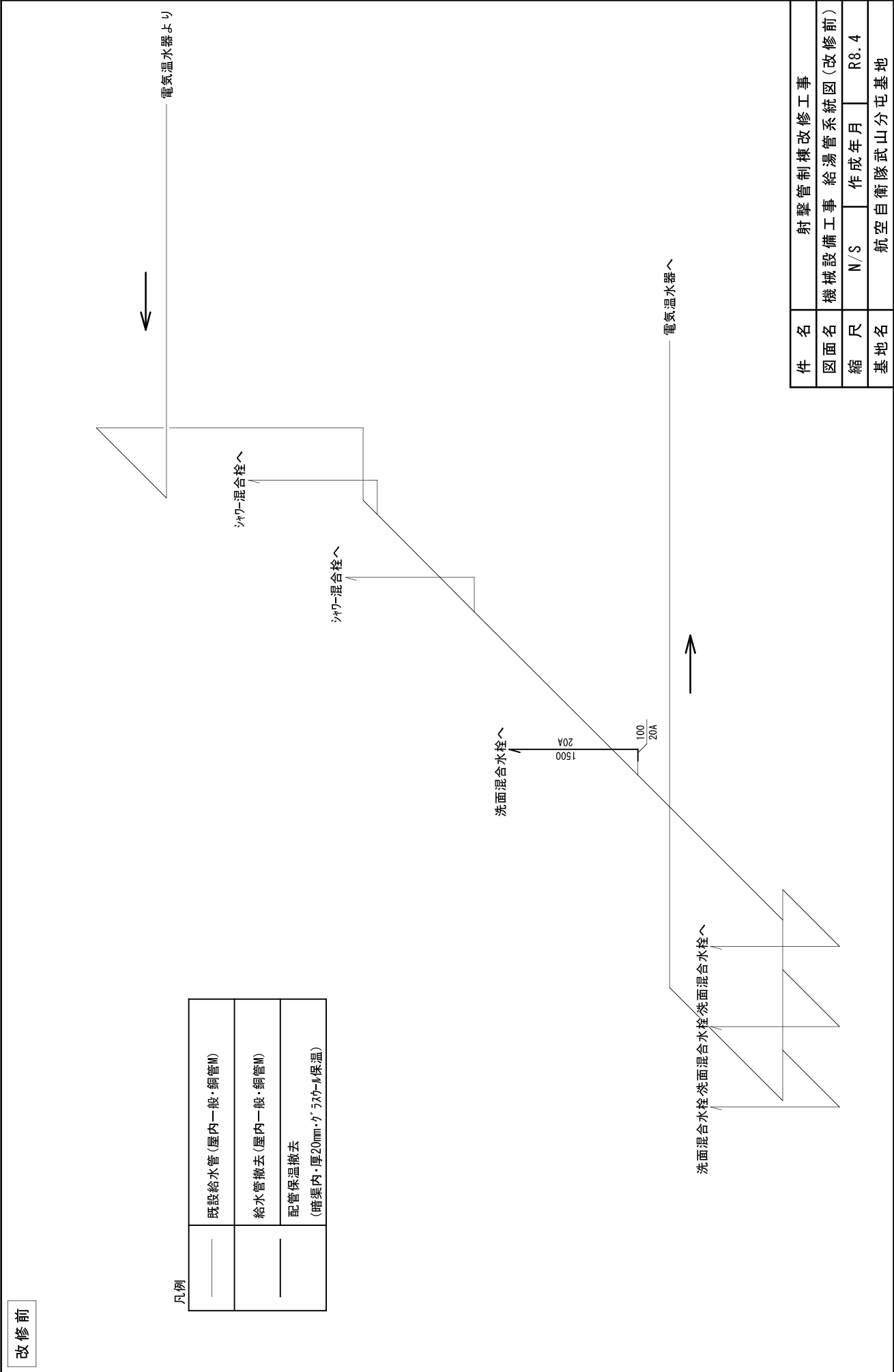


図24—機械設備工事 給湯管系統図 (改修前)

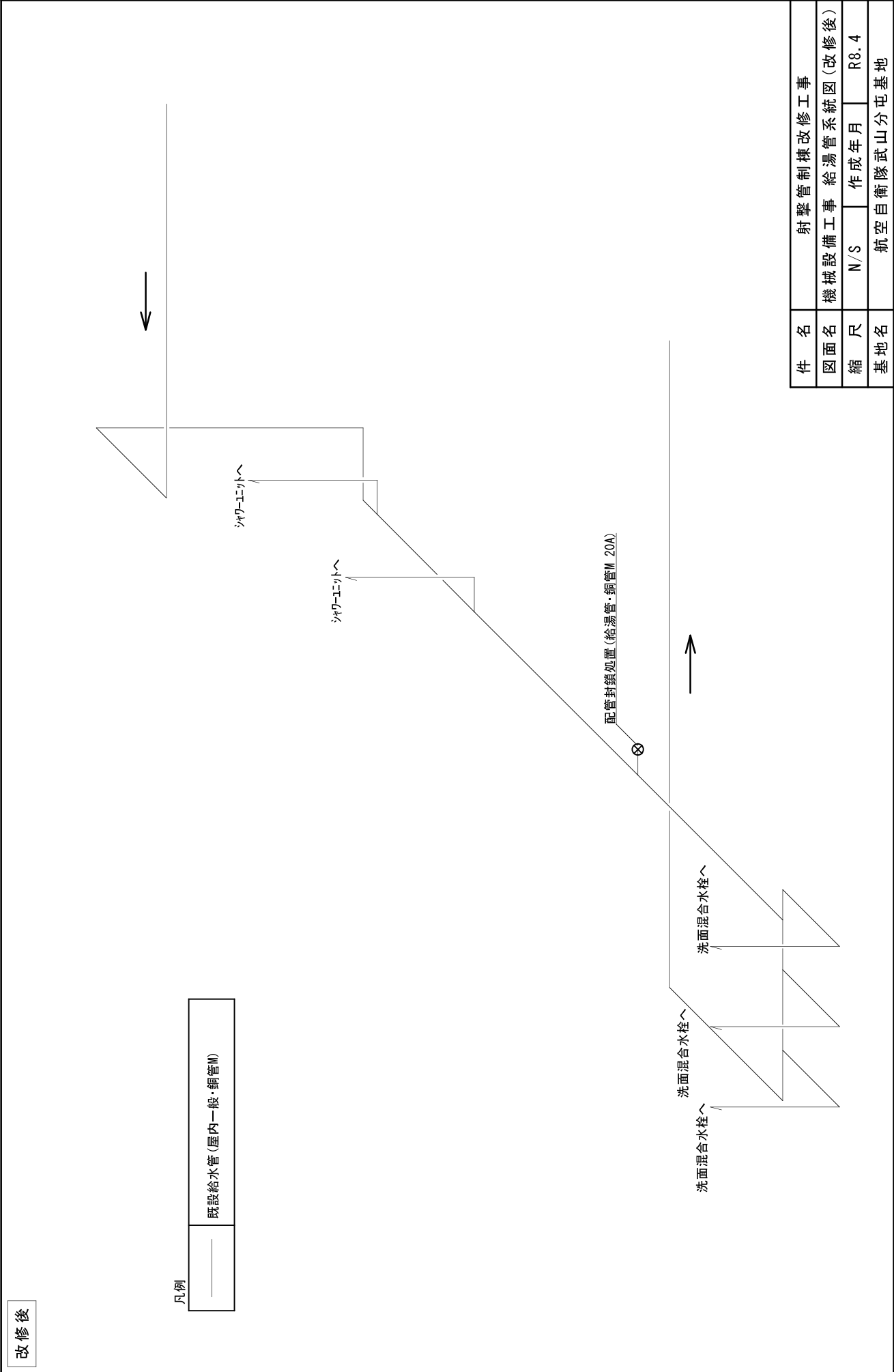
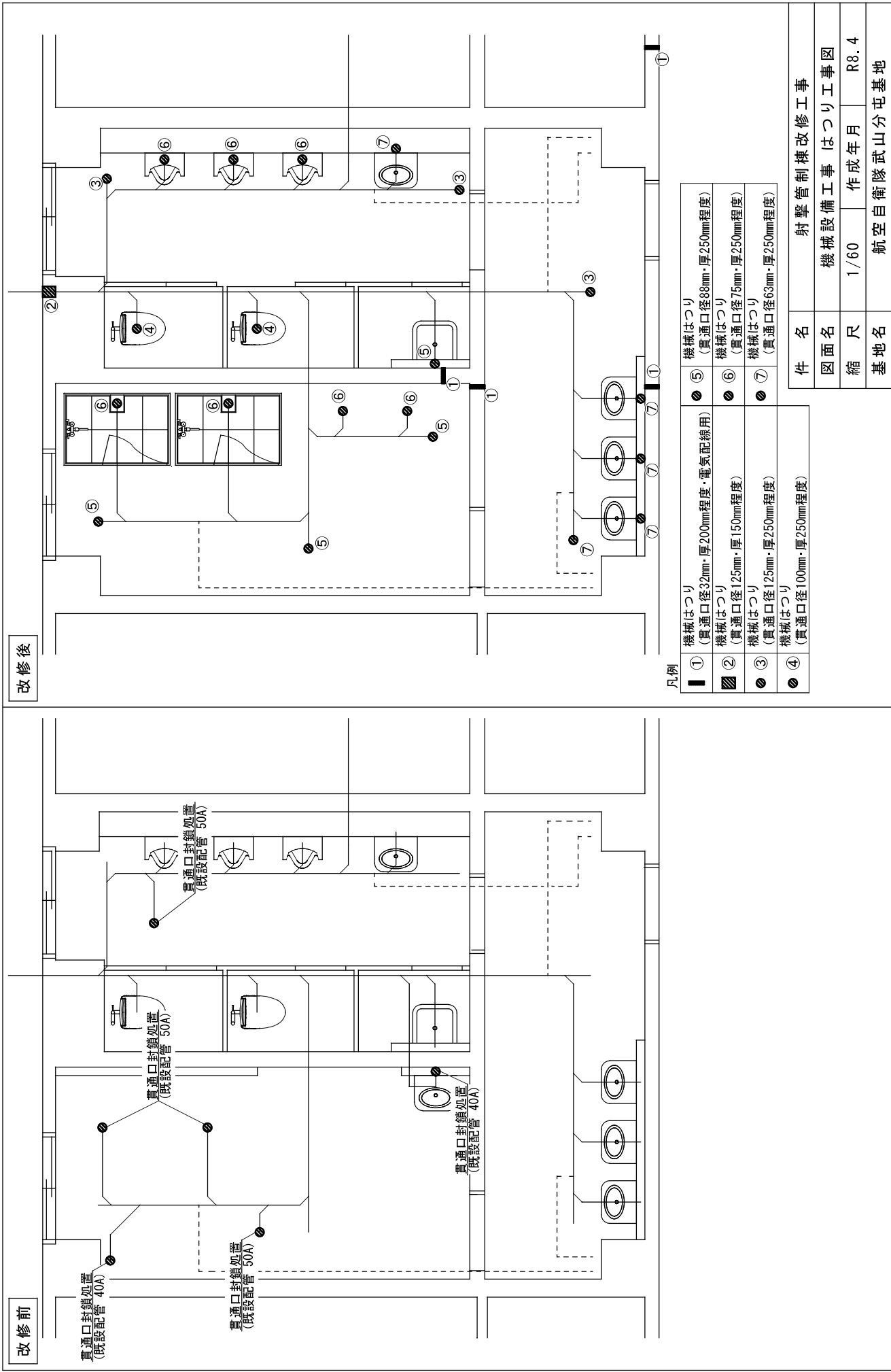


図25—機械設備工事 給湯管系統図（改修後）



件名	射撃管制棟改修工事		
図面名	機械設備工事 はつり工事図		
縮尺	1/60	作成年月	R8. 4
基地名	航空自衛隊武山分屯基地		

図26一機械設備工事 はつり工事図

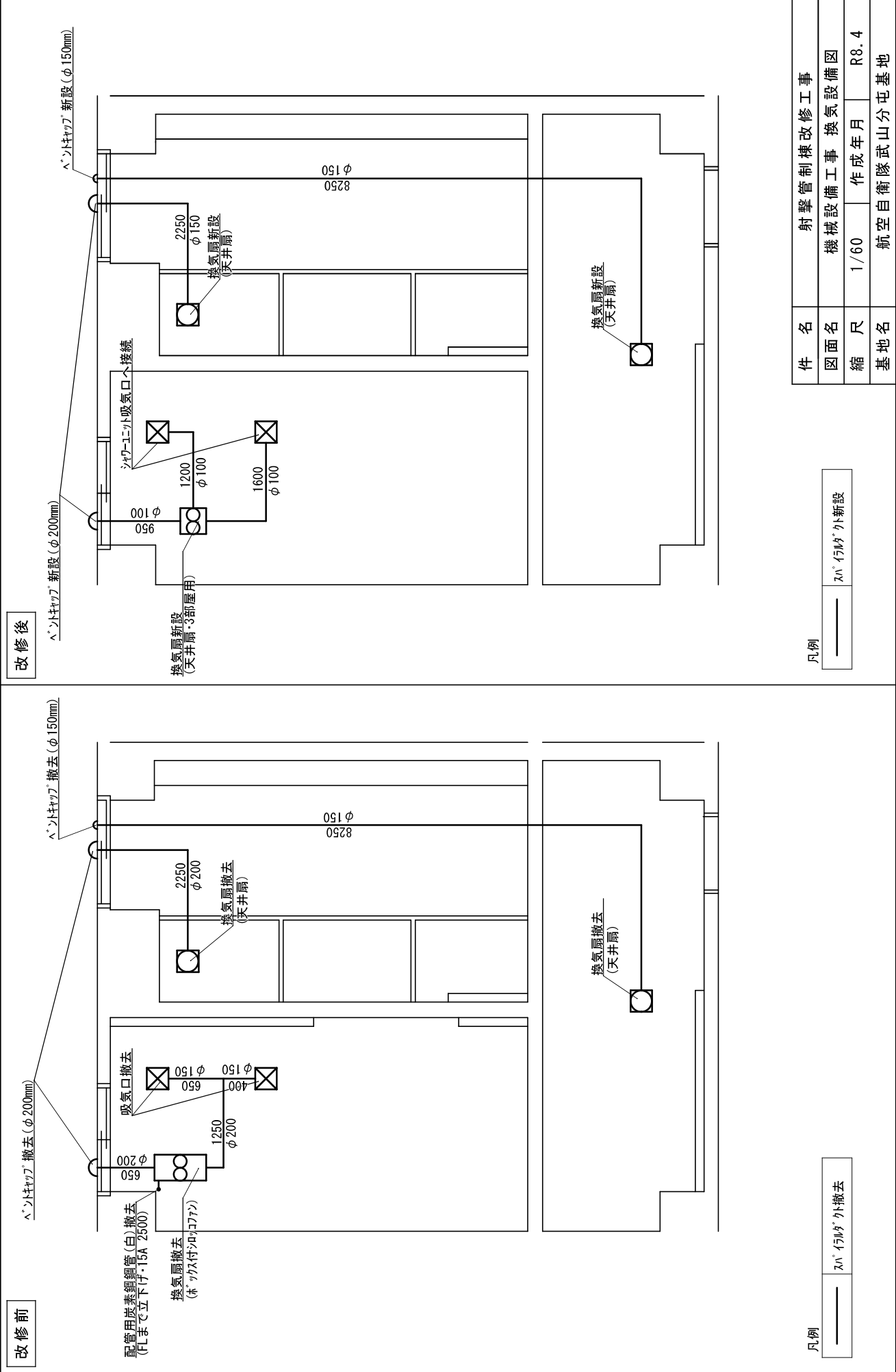


図27ー機械設備工事 換気設備図

38

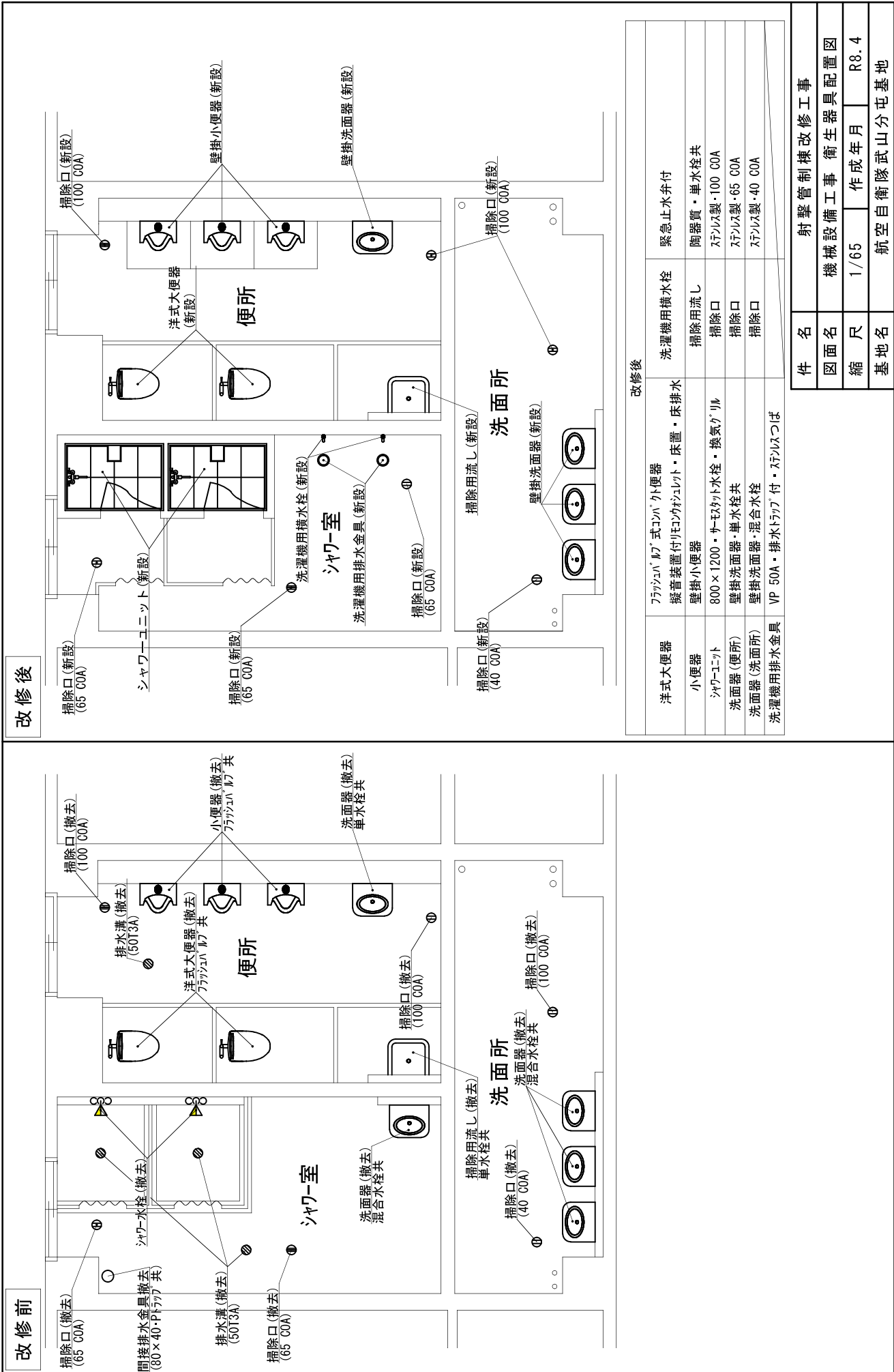
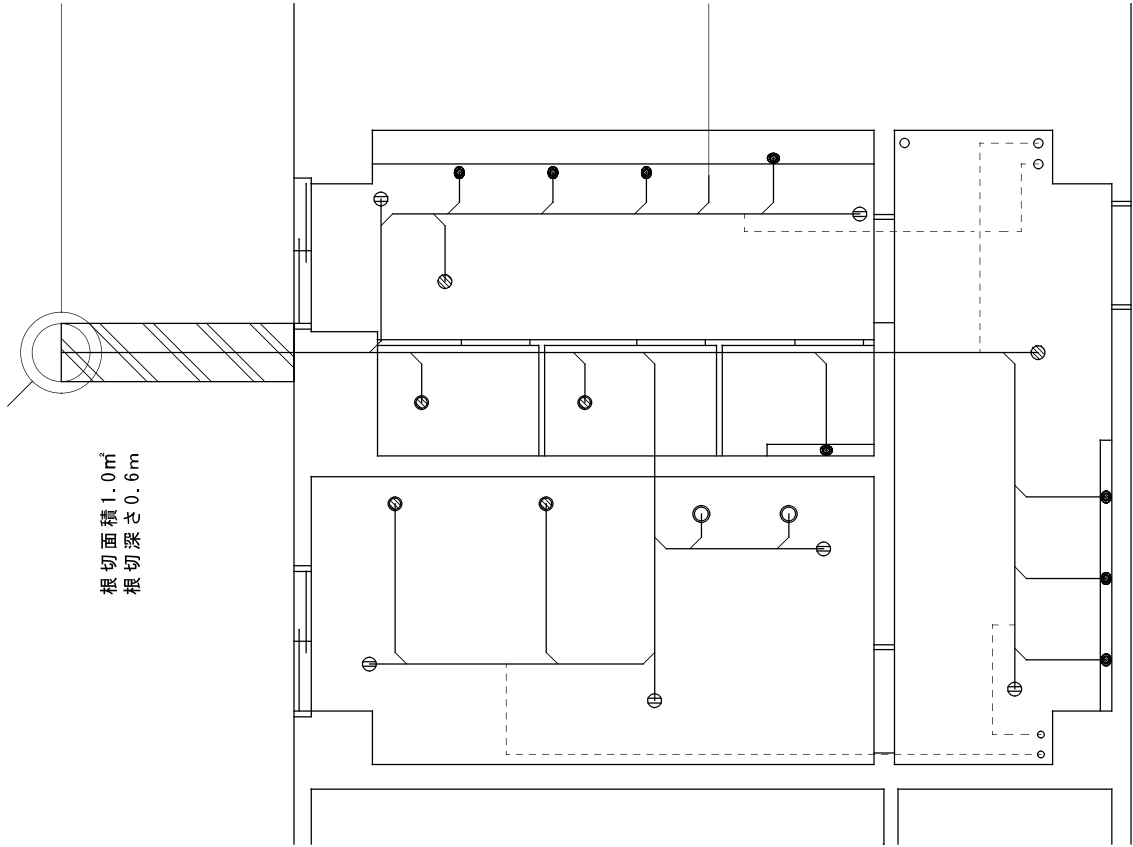


図28一機械設備工事 衛生器具配置図

39



件名	射撃管制棟改修工事		
図面名	機械設備工事 土工事図		
縮尺	1/65	作成年月	R8.4
基地名	航空自衛隊武山分屯基地		

図29—機械設備工事 土工事図
40.